

令和3年度

入学者選抜要項

【重要】令和3年度入学者選抜の実施について

新型コロナウイルスの感染状況により、令和2年度に福井大学が実施する令和3年度入試において、各選抜の学生募集要項及び入学者選抜要項（この資料）に記載されている選抜方法、選抜日程等を変更して実施することが予想されます。その場合は、ホームページにて随時情報を発信しますので、確認してください。

また、新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の配慮については、ホームページ（受験生の方へ）に掲載の「令和3年度大学入学者選抜での新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の配慮について」を確認してください。

福井大学ホームページ（受験生の方へ）：https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/

インターネット出願の実施について

福井大学では、「一般選抜」、「学校推薦型選抜」及び「総合型選抜」において、インターネット出願を実施しています。

これらの学生募集要項及び入学者選抜要項（この資料）について、冊子体での配付は行いませんので、ホームページから閲覧またはダウンロードしてください。

福井大学ホームページ：<https://www.u-fukui.ac.jp/>

令和2年7月

格致によりて 人と社会の未来を拓く



入学者選抜日程の概要

事 項 選抜の種類			募集要項 発表予定	出願期間	学力検査等	合格者発表	入学手続
一般選抜	前 期 日 程 (全 学 部)		10月中旬	令和 3年 1月25日(月) ～2月 5日(金)	令和 3年 2月25日(木) 2月26日(金)(※2)	令和 3年 3月 6日(土)	令和 3年 3月 8日(月) ～ 3月15日(月)
	後 期 日 程 (全 学 部)			令和 3年 2月15日(月) ～2月18日(木)(※1)	令和 3年 3月12日(金)	令和 3年 3月20日(土・祝)	令和 3年 3月22日(月) ～ 3月26日(金)
	前 期 日 程・後 期 日 程 追 試 験(※3) (当 該 学 部)			当該試験日の 指定時刻まで受付	令和 3年 3月22日(月)	令和 3年 3月26日(金)	令和 3年 3月28日(日) ～ 3月30日(火)
学校推薦型選抜	学校 推薦型 選抜Ⅰ	教育学部	9月上旬	令和 2年 11月 2日(月) ～11月 9日(月)	令和 2年 11月21日(土)	令和 2年 12月 9日(水)	令和 2年 12月14日(月) ～12月18日(金)
		医学部看護学科	9月上旬		令和 2年 11月21日(土)	令和 2年 12月18日(金)	令和 2年 12月21日(月) ～12月25日(金)
		工学部	8月下旬		令和 2年 11月21日(土)	令和 2年 12月 9日(水)	令和 3年 2月12日(金) ～2月17日(水)
	学校 推薦型 選抜Ⅱ	教育学部	9月上旬	令和 2年 12月 7日(月) ～12月11日(金)	令和 3年 1月23日(土)	令和 3年 2月15日(月)	令和 3年 2月17日(水) ～ 2月22日(月)
		国際地域学部			1次〔書類選考〕 最終 令和 3年 2月13日(土)	1次 令和 3年 2月 9日(火) 最終 2月16日(火)	
		医学部医学科 (全国枠・地域枠・ 福井健康推進枠)	9月上旬				
総合型選抜	総合型 選抜Ⅰ	教育学部 (高大接続型入試)	8月下旬	令和 2年 11月 2日(月) ～11月 9日(月)	1次 令和 2年 11月21日(土) 最終 12月19日(土)	一次 令和 2年 12月 3日(木) 最終 12月25日(金)	令和 3年 2月12日(金) ～ 2月17日(水)
		国際地域学部 (高大接続型入試)	8月下旬	令和 2年 10月27日(火) ～10月30日(金)	1次〔書類選考〕 最終 令和 2年 12月 5日(土)	一次 令和 2年 11月24日(火) 最終 12月11日(金)	令和 2年 12月15日(火) ～12月18日(金)
	総合型 選抜Ⅱ	工学部	8月下旬	令和 2年 10月20日(火) ～10月27日(火)	1次〔書類選考〕 最終 令和 2年 12月21日(月)	一次 令和 2年 12月 1日(火) 最終 令和 3年 2月15日(月)	令和 3年 2月16日(火) ～ 2月22日(月)
私費外国人 留学生選抜		工学部	10月上旬	令和 3年 1月12日(火) ～ 1月15日(金)	令和 3年 2月10日(水)	令和 3年 2月19日(金)	令和 3年 3月 1日(月) ～ 3月 4日(木)
		国際地域学部					
私費外国人 留学生選抜 (特別枠)		国際地域学部	4月公表済	令和 2年 10月 1日(木) ～10月12日(月)	〔インターネット・ インタビュー〕 令和 2年 10月29日(木) ～11月 2日(月)	令和 2年 11月13日(金)	令和 3年 3月22日(月) ～ 3月26日(金)

- ・大学入学共通テストの日程は以下のとおりです。
大学入学共通テスト①：1月16日(土)・17日(日)
大学入学共通テスト②：1月30日(土)・31日(日)
大学入学共通テスト(特例追試験)：2月13日(土)・14日(日)
- ・(※1)大学入学共通テスト(特例追試験)を受験した者の一般選抜への出願期間は、2月15日(月)～18日(木)です。
- ・(※2)26日(金)は医学部のみ実施します。
- ・(※3)追試験(前期日程・後期日程)：3月22日(月)
新型コロナウイルス感染症等に罹患したことにより、一般選抜(前期日程・後期日程)を受験できなかった者を対象とする追試験を実施します。追試験の詳細については、決定次第、募集要項や本学ホームページでお知らせします。
- ・工学部の一般選抜(前期日程)個別学力検査については、京都試験場(京都市：専門学校YIC京都工科自動車大学校)、名古屋試験場(名古屋市：ウインクあいち)を設置します。
- ・工学部の一般選抜(後期日程)個別学力検査については、敦賀試験場(敦賀市：福井大学敦賀キャンパス)を設置します。

〈注意〉

- ・入学者選抜に関する全ての事項は、志願者本人がこの入学者選抜要項に加えて各学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この入学者選抜要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
【ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>】
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この入学者選抜要項を参照の上、必ず**志願者本人**が行ってください。

目 次

I アドミッション・ポリシー	
1. 全 学	1
2. 教 育 学 部	2
3. 医 学 部	4
4. 工 学 部	7
5. 国際地域学部	12
II 募 集 人 員	13
1. 教育学部学校教育課程の選抜方法等	14
2. 工学部の所属コース等の決定	15
III 一 般 選 抜	
1. 出願資格	16
2. 入学者選抜方法	
(1) 入学者選抜方法等（個別学力検査等）	17
(2) 入学者選抜の実施教科・科目等（一般選抜）	21
(3) 一般選抜の実技検査内容（教育学部学校教育課程）	27
(4) 一般選抜の小論文、面接の内容（出題方針）等	27
3. 出願期間、個別学力検査等の日程及び合格者発表	28
4. 欠員補充	29
5. 障がいのある入学志願者等の事前相談	29
6. 入学資格審査を要する者の事前相談	29
7. 入学試験個人成績の開示	29
IV 学校推薦型選抜	
1. 入学者選抜方法等	30
2. 学校推薦型選抜の選抜方法	
(1) 学校推薦型選抜Ⅰ	31
(2) 学校推薦型選抜Ⅱ	35
(3) 入学者選抜の実施教科・科目等（学校推薦型選抜Ⅱ）	41
V 総合型選抜	
1. 入学者選抜方法等	43
2. 総合型選抜の選抜方法	
(1) 総合型選抜Ⅰ	44
(2) 総合型選抜Ⅱ	46
(3) 入学者選抜の実施教科・科目等（総合型選抜Ⅱ）	51
VI 私費外国人留学生選抜	52
VII 資料の請求方法	55
VIII 入学検定料免除（返還）・入試過去問題活用宣言	56

※本要項中の教科・科目名等は、下記のとおり略記により表記しております。

国語→国、地理歴史→地歴、世界史A→世A、世界史B→世B、日本史A→日A、日本史B→日B、現代社会→現社、倫理→倫、政治・経済→政経、(倫理、政治・経済)→倫・政経、数学①→数①、数学②→数②、数学→数、数学Ⅰ→数Ⅰ、数学Ⅱ→数Ⅱ、数学Ⅲ→数Ⅲ、数学A→数A、数学B→数B、簿記・会計→簿、情報関係基礎→情報、理科①（基礎を付した科目）→理①、理科②（基礎を付していない科目）→理②、外国語→外、英語→英、ドイツ語→独、フランス語→仏、中国語→中、韓国語→韓、コミュニケーション英語Ⅰ→コ英Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ→コ英Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ→コ英Ⅲ、英語表現Ⅰ→英表Ⅰ、英語表現Ⅱ→英表Ⅱ

I アドミッション・ポリシー

1. 全学部共通 入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

福井大学は、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的な水準の教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成を理念・目標に掲げています。この理念・目標を達成するため、本学では以下の能力を有する人を入学生として受け入れます。

（１）求める学生像

- ①高度専門職業人として地域社会や国際社会に貢献する強い意欲を有する人
- ②高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において、専門分野の基礎となる知識・技能を修得している人
- ③正確な文章読解，論理的な記述，適切な表現などの基本的な言語運用能力を有する人
- ④豊かな人間性，周囲との協調性，奉仕の精神を有する人

（２）入学者選抜の基本方針

各学部においては、個々の特性およびアドミッション・ポリシーに応じて以上の観点を適切に選択し、かつ組み合わせられた入学者選抜を実施します。そして、各学部が求める能力・適性等を、多様な選抜方法・区分によって、公平かつ多面的・総合的に評価します。

2. 教育学部

(1) 教育理念

学校教育の様々な課題に対して高い専門性をもって積極的に取り組む人を育てる学部、それが教育学部です。本学部には、小学校、特別支援学校、幼稚園などの教員を養成する「初等教育コース」と中学校、高等学校などの教員を養成する「中等教育コース」の2つのコースがあります。それぞれのコースでは、教科・領域の専門性を横断的、系統的に身につけ、学習者の成長や学習に対する専門的理解を深め、地域と連携できる能力を備えた教員の養成を通じて広く社会の発展に寄与することを目指しています。

(2) 求める学生像

1. 高等学校などで身につけた基礎学力の上に立って、主体的・協働的に学ぶことができる人
2. 人間の教育や心理に興味を持ち、初等・中等教育における各教科の教育に強い関心を抱いている人
3. 子どもの成長を支えられる豊かな人間性と優れたコミュニケーション能力を有している人
4. 教育への情熱や探究心を持ち、学校を中心とする地域・社会の諸課題に積極的に取り組んでいこうとする人

(3) 入学者選抜の基本方針

【一般選抜（前期日程）】

基礎学力を総合的に判定するために、大学入学共通テストを課します。さらに、文系型・理系型の選抜では、選抜区分に応じた教科・科目の学力を重視した学力検査を実施し、専門分野の学習に必要な知識・能力を評価します。実技型（音楽）の選抜では、実技検査、実技型小論文及び面接（口述試験を含む）を実施し、専門分野の学習に必要な知識・技能及び意欲を評価します。実技型（体育）の選抜では、実技検査、実技型小論文を実施し、専門分野の学習に必要な知識・技能及び意欲を評価します。

【一般選抜（後期日程）】

基礎学力を総合的に判定するために、大学入学共通テストを課します。さらに、教育、文化、科学・技術、人間の発達に関わる課題を扱った小論文を課します。また、特別支援型の選抜では、特別支援教育に関連する資料を扱った小論文を加えて課し、専門分野の学習に必要な論理的思考力や表現力を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅰ】（大学入学共通テストを課さない）

○ 実技型（技術）

調査書、推薦書、志願理由書等により技術科で学ぶ者に求められる資質・能力、適性を評価します。また、実技検査、実技型小論文及び面接（口述試験を含む）により、基礎的技能の程度と技術教育への興味・関心、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅱ】（大学入学共通テストを課す）

○ 面接型（総合）

大学入学共通テストにより基礎学力を総合的に判定し、調査書、推薦書、志願理由書により、初等及び中等教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、面接（プレゼンテーション及び口述試験を含む）により、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○ 面接型（家庭）

大学入学共通テストにより基礎学力を総合的に判定し、調査書、推薦書、志願理由書により、初等及び中等教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、面接（プレゼンテーション及び口述試験を含む）により、家庭科教育に対する目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○ 実技型（音楽）

大学入学共通テストにより基礎学力を総合的に判定し、調査書、推薦書、志願理由書及び面接（口述試験を含む）により、音楽及び音楽教育に対する理解や意欲について評価します。また、実技検査では、ピアノ、声楽、管弦打楽器の選択課題により、表現の技能及び音楽性を判定します。

【総合型選抜Ⅰ（高大接続型入試）】（大学入学共通テストを課さない）

○ 実技型（美術）

第1次選考では、プレゼンテーション（プレゼンテーションの資料作成・口頭発表）と提出書類（調査書、志願理由書、自己推薦書等）により、基礎的学力を総合的に判断し、初等教育及び中等教育を学ぶための資質、適性を評価します。

最終選考では、実技検査（基礎的な造形力を素描にて考査）と面接（口述試験を含む）により、教育の諸課題に主体的に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

3. 医学部

【医学部の理念】

愛と医術で人と社会を健やかに

真理を探究する知への愛—

それは、古代ギリシャの哲学者プラトンや医学の父ヒポクラテスが最も信頼を寄せた愛、すなわち、自分自身の「無知」を自覚し、つねに真理の側へと身を置き、それを不断に求め続けることを自らに課す、極めて厳しい愛です。私たちは、最新の医学・看護学知識や技術を学び、修練すると共に、次世代の医学・看護学を開拓する研究を推進します。

人命を尊重し人間に共感する人への愛—

それは、病に臥していようが無かろうが、日々の生活を営む人々のために自らの知識と知恵を捧げようと志す、徹底した無我の愛です。私たちはその具体的な姿を、福井藩蘭方医、笠原良策（白翁）（1809-1880）に見出します。笠原は、幕末まで死病として恐れられた天然痘の流行を食い止めるため、既存の医学や因習に囚われることなく、常に最先端の医学を探究し続けた「知への愛」の実践者であると同時に、自らの命を賭して種痘の普及と実施に尽力し、人と社会の健康に一生を捧げた人物に他なりません。私たちは、旧福井医科大学学歌に謳われた“杏林愛に芳しき”医療従事者や研究者を育成、輩出し、人と社会を健やかにする事に貢献します。

【医学部の教育目的】

福井大学医学部は、理念に基づき、人間形成を基盤に生命尊重を第一義とする医の心の態度を体得するとともに、世界水準の医学および看護学の知識と技能を修得し、地域社会や国際社会で活躍できる医療人および研究者を育成する。

○ 医学科

確かな知識と技能に基づく質の高い臨床能力と、生命尊重を第一義とする共感力と倫理観を有し、根拠に立脚した患者中心の医療を実践できる医師や、医学の進展に貢献する高い能力を身につけた医学研究者を育成し、医学・医療の進歩を通じて社会に貢献することを目的とする。

○ 看護学科

高い倫理観と良識ある人間性を有し、科学的根拠に基づいた看護を実践でき、知識・技能を生涯にわたり修得し続ける高度専門職業人を育成し、看護学の発展と地域社会に貢献することを目的とする。

【医学部教育の人材育成目標】

医 学 科	① 高い倫理観・責任感、優れた共感力とコミュニケーション力を備えた患者中心の医療を実践できる臨床医を育成する。 ② 医学および関連領域の知識と技能を応用して、医療における高度専門職業人として活躍できる医師・医学研究者を育成する。 ③ 地域のニーズを踏まえた地域医療を実践できるとともに、グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる臨床医を育成する。
看 護 学 科	① 高い倫理観・責任感、良識ある人間性とコミュニケーション力を備えた対象者中心の看護を実践できる看護師・保健師・助産師を育成する。 ② 看護学及び関連領域の知識と技能を応用し、高度専門職業人として活躍できる看護師・保健師・助産師を育成する。 ③ 地域のニーズを踏まえた看護を実践できるとともに、グローバルな視点に立ち「ふくい」の地域医療に貢献できる看護師・保健師・助産師を育成する。

上記の理念・教育目標・人材育成目標を達成するため、本学医学部では以下の資質を有する人を入学生として受け入れます。

【求める学生像】

医 学 科	① 医師となるにふさわしい豊かな人間性、周囲との協調性、責任感を有する人 ② 奉仕の精神を持ち、人を思いやり、尊重することのできる人 ③ 医学教育内容を十分理解するために必要な幅広い基礎学力と応用能力に富み、自ら学び続ける学修意欲のある人 ④ 医学・医療を通じて地域社会や国際社会に貢献しようとする強い情熱と意欲を持つ人 ⑤ 地域を愛し、医師として地域医療に貢献することを望む人 ⑥ 医学・生命科学に強い関心をもち医学研究者になることを望む人
看 護 学 科	① 看護に関心を持ち、将来看護職として、地域医療に貢献したいと考える人 ② 倫理的感性を有し、人間の尊厳と権利を尊重することができる人 ③ グローバル化が進展する社会に関心をもつことができる人 ④ 基礎学力の上にたって、人と地域社会に関心をもって学習に臨める人 ⑤ 協調性がありコミュニケーション能力のある人 ⑥ 誠実な心を持ち、主体的で意欲のある人

【特色】

医 学 科	医学への学修意欲・医療へのモチベーションを高めるため、初年次から人体解剖学、早期体験実習などを導入しています。また、地域事情を踏まえた地域医療教育、プロ意識涵養のためのメディカルプロフェッショナルリズム教育、さらに、本学独自の ICT システムを用いた診療参加型臨床実習を実施しています。
看 護 学 科	生涯にわたり自発的にキャリア開発を継続する基本的能力を涵養するためのプロフェッショナルリズム教育、また、グローバルな視点で現代の地域社会のニーズに対応し看護を実践するための教育を、初年次から継続的・発展的に実施しています。さらに、看護師に加えて、保健師または助産師を目指すことも可能です。

【入学者選抜の基本方針】

医 学 科	様々な資質・背景を持つ多様な人に広く門戸を開くため、次のような選抜方法を行っています。全ての試験に面接試験を課し、医師としての資質・適性・将来性を判断することにより、「求める学生像」に相応しい人の選抜に努めています。 ① 一般選抜（前期日程・後期日程） 高等学校卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し、大学入学共通テスト、個別学力検査及び面接の成績によって選抜を行います。大学入学共通テストに加え、個別学力検査を課し、医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価します。 ② 学校推薦型選抜Ⅱ：全国枠 学習成績や人格に優れた者として高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者に対し、書類審査、大学入学共通テスト及び面接の成績によって選抜を行います。大学入学共通テストの成績で医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査によって「求める学生像」に相応しい人の選抜を行います。 ③ 学校推薦型選抜Ⅱ：地域枠 学習成績や人格に優れ、福井県内において医療に従事する強い意思を有し、かつ高等学校長の推薦する福井県内の高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者等に対し、書類審査、大学入学共通テスト及び面接の成績によって選抜を行います。大学入学共通テストの成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価します。 ④ 学校推薦型選抜Ⅱ：福井健康推進枠 学習成績や人格に優れ、福井県内において医療に従事する強い意思を有し、かつ高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者に対し、書類審査、大学入学共通テスト及び面接の成績によって選抜を行います。大学入学共通テストの成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価します。 ⑤ 学士編入学 大学卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し、書類審査、個別学力検査及び面接の成績によって選抜を行います。個別学力検査では理系大学教養課程修了に相当する基礎学力（生命科学関連、英語等）を評価します。面接では学士としての見識と経験、医学を学ぶ目的と強い意欲を判断します。合格者は2年次前期（4月）に編入します。
看 護 学 科	「求める学生像」にふさわしい者を選抜するため、多様な観点から受験者の学力や資質を評価します。また、全ての試験に面接を課し、看護を学ぶ意欲・積極性・表現力・協調性・一般的態度を評価することにより、アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜に努めています。 ① 一般選抜（前期日程・後期日程） 高等学校卒業者及び同等以上の学力があると認めた者に対し、大学入学共通テスト、個別学力検査及び面接並びに調査書の内容を総合して選抜します。 大学入学共通テストでは高等学校等での教科面における学習達成度を評価します。個別学力検査及び面接では、看護を学ぶための適性を総合的に評価するとともに、調査書により受験者の資質を評価します。 ② 学校推薦型選抜Ⅰ 人物、学力ともに優秀であると高等学校長から推薦された高等学校卒業見込者に対し、個別学力検査及び面接並びに調査書等の内容を総合して選抜します。個別学力検査及び面接では、看護を学ぶための適性を総合的に評価するとともに、調査書により受験者の資質を評価します。

4. 工学部

(1) 工学部で養成する人材像

工学部では、「安全で安心な社会の創造」に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元します。この方針のもと、人材養成の基本コンセプトとして「グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者“グローバルイマジニア”の育成」を掲げ、安全で安心な社会の創造のための知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力、さらに歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を備えた高度専門技術者を養成します。

各学科では、以下のような人材を養成します。

機械・システム工学科	多種多様な革新的機械・システム技術の創造に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成します。
電気電子情報工学科	電気工学から発し、歴史とともに拡大・細分化してきた通信工学、半導体工学、計算機工学、情報工学の学問分野を広くカバーするカリキュラムにより、電気系、情報系の学問基礎の体系的な修得と両分野に跨る分野横断的な応用力と実践力を有する人材を養成します。
建築・都市環境工学科	建築学と土木工学を基礎とし、ますます顕在化する社会基盤施設の維持・保全管理、国土の強靱化、少子高齢化社会への対応、環境調和型の生活空間の構築等、安全・安心で快適な社会生活環境の実現に貢献する実践力ある人材を養成します。
物質・生命化学科	高性能・高機能な材料・繊維の創製に向けた教育・研究、化学製品の合成・開発・利用を指向した物質の探求、医学・農学と工学の融合分野への応用を目指したバイオテクノロジー教育などを通じて、持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる人材を養成します。
応用物理学科	工学の幅広い分野に対応できる確固とした理工学の知識・思考方法・応用能力を修得するとともに、総合的な実践力や産業関連知識を自ら学び、課題解決につなげる力、グローバルな行動力、倫理観を身につけた物理を中心とした基礎科学を応用展開できる人材を養成します。

(2) 求める学生像

(2-1) 知識, 能力, 意欲等

工学部では、養成する人材像を踏まえ、以下のような学生を求めます。

1. グローバルイマジニアとして地域社会や国際社会に貢献する意欲を有する人
2. 高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において、理工学分野の基礎となる知識及び実践力を習得している人
3. 正確な文章読解, 論理的な記述, 適切な表現などの基本的な言語運用能力を有する人
4. 豊かな人間性, 周囲との協調性, 奉仕の精神を有し, 柔軟な発想力をもって課題解決に向け主体的に行動できる人

特に、各学科では以下のような入学者を求めます。

機 械 ・ シ ス テ ム 工 学 科	1. ものづくりに興味があり, 機械・システム工学分野の基礎となる数学や理科が好きな人 2. 機械・システム工学分野に関する専門的な知識を身につけたい人 3. 機械やシステムのエンジニアとして, ものづくりにより社会に貢献する意欲を有する人
電 気 電 子 情 報 工 学 科	1. 電気・電子・情報分野を伝承するとともに, 新たな創造に挑戦したい人 2. 電気, 電子, コンピュータを学ぶための数学や物理が好きな人 3. 論理的思考力を問題解決に活かしたい人
建 築 ・ 都 市 環 境 工 学 科	1. 建物のデザインや安全性, 建築環境の改善や創造に興味を持つ人 2. 社会基盤や都市のデザイン, 安全性, 都市環境の改善や創造に興味を持つ人
物 質 ・ 生 命 化 学 科	1. 物質や生命の不思議にワクワクする人 2. 創造する化学にチャレンジしたい人 3. 新素材, 繊維, バイオに興味がある人
応 用 物 理 学 科	1. 物理や数学に基づいて, ものごとを基本に返って考える能力を有する人 2. 先端科学技術分野への強い興味を持つ人 3. ものづくりや実験の基礎となる知識・技能を有している人

(2-2) 入学までに学習しておくことが期待される内容

工学部では、高等学校段階までの数学や理科に関する基礎学力が十分身に付いていることを前提に専門教育を行います。また、それら以外の教科に関する知識も、ものごとを多面的にとらえ、専門知識を「安全で安心な社会の創造」に結び付けるための基礎となります。これらのことから、高等学校段階では、数学や理科はもちろん、それ以外についても幅広く学習し、視野を広げておくことを期待します。

(3) 受け入れる学生に求める学習成果

求める学生像を踏まえ、受け入れる学生に身に付けておいてほしい学習成果は以下の通りです。

- ① 高等学校段階までに学ぶ幅広い教科・科目の知識・技能
- ② 工学部における学修の基礎である数学や理科に関する知識・技能
- ③ ①と②に基づいた思考力・判断力・表現力
- ④ 志望する学科の専門分野に対する強い興味
- ⑤ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

求める学習成果①～⑤と学力の3要素との対応関係、および学習成果を評価するために用いる学力検査や資料等は以下の通りです。総合的な評価・判定を行うにあたり重視するものに○を付しています。ただし、○を付していないものでも、その評価結果が著しく低い場合には、判定に大きく影響します。

学力の3要素		知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める学習成果 (①～⑤は前述の「受け入れる学生に求める学習成果」の項目)		①, ②, ④		③		④, ⑤
一般選抜 (前期日程)	全学科	○	大学入学共通テスト	○	大学入学共通テスト ○ 個別学力検査	調査書
一般選抜 (後期日程)	全学科	○	大学入学共通テスト	○	大学入学共通テスト ○ 個別学力検査	調査書
学校推薦型選抜Ⅰ	EI	○	調査書 面接 (口述試験を含む)	○	面接 (口述試験を含む) 志願理由書	推薦書, 調査書, 志願理由書 ○ 面接 (口述試験を含む)
学校推薦型選抜Ⅰ (高大接続型入試)	AC	○	調査書 面接 (口述試験を含む)	○	面接 (口述試験を含む) 志願理由書	推薦書, 調査書, 志願理由書 ○ 面接 (口述試験を含む) ○ プレゼンテーション
総合型選抜Ⅱ	全学科	○	大学入学共通テスト 調査書	○	大学入学共通テスト ○ 面接 (口述試験を含む) 志願理由書 自己推薦書	自己推薦書, 調査書, 志願理由書 ○ 面接 (口述試験を含む)
私費外国人留学生選抜	全学科	○	日本留学試験 成績証明書 ○ TOEFL	○	面接及び口述試験 (簡単な筆記試験を行う場合もある)	○ 面接及び口述試験 (簡単な筆記試験を行う場合もある)

EI: 電気電子情報工学科, AC: 建築・都市環境工学科

（４）入学者選抜の基本方針

多様な背景を持った学生の受入れを進めるため、一般選抜（前期日程、後期日程）、学校推薦型選抜Ⅰ、総合型選抜Ⅱ、私費外国人留学生選抜、第３年次編入学入試を実施します。それぞれの選抜においては、求める学習成果を踏まえ、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

【一般選抜】

大学入学共通テスト並びに個別学力検査及び調査書を用いて評価・判定します。

<前期日程>

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 応用物理学科	大学入学共通テスト（５教科 ７科目）により、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、個別学力検査（数学、物理）により、数学と物理に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。
建築・都市環境工学科 物質・生命化学科	大学入学共通テスト（５教科 ７科目）により、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、個別学力検査（数学、物理又は化学）により、数学と物理又は化学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

<後期日程>

全 学 科	大学入学共通テスト（５教科 ７科目）により、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、個別学力検査（数学）により、数学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。
-------	--

【学校推薦型選抜Ⅰ】

出身学校長の推薦に基づいて、大学入学共通テストを免除し、調査書等を活用して評価・判定します。

電気電子情報工学科	大学入学共通テストを免除し、推薦書、調査書、志願理由書及び面接（口述試験を含む）の結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。
建築・都市環境工学科 （高大接続型入試）	大学入学共通テストを免除し、推薦書、調査書、志願理由書、面接（口述試験を含む）及びプレゼンテーションの結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。

【総合型選抜Ⅱ】

大学入学共通テスト、書類審査、面接等を組み合わせて評価・判定します。

全 学 科 共 通	第1次選考では、書類審査により文章力や自己アピール力等の評価を行うとともに、調査書等に基づいて基礎学力の評価を行います。最終選考では、大学入学共通テストにより基礎学力を総合的に評価し、さらに面接（口述試験を含む）により、目的意識・意欲、表現力等の評価及び理数系科目の学力を評価します。以上を総合して、能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を評価・判定します。
-----------	--

【私費外国人留学生選抜】

真に修学を目的とした志願であることの確認も含め、能力・意欲・適性等を評価・判定します。

全 学 科 共 通	日本留学試験及びTOEFLの成績、並びに、面接、口述試験（簡単な筆記試験を行う場合もある）及び出願書類により、日本語能力と理数系科目の学力を中心とした能力、意欲、適性、目的意識等を総合的に評価・判定します。
-----------	---

5. 国際地域学部

(1) 教育目標

地域や国際社会の抱える複雑な課題を探究し、課題解決をしていくための実践的・総合的な能力を身につけ、地域の創生を担いグローバル化した社会の発展に寄与する人材を育成します。

(2) 求める学生像

1. グローバル化によって地域から国際社会にまで起こっている複雑な諸問題について関心をもち、それについての探究を深め課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲のある者。
2. 課題の探究と解決に向けて、必要な専門的な分野の学習を学ぶ意欲をもつとともに、問題解決の方法や他の人と協働で実践的に取り組んでいくことに積極性のある者。
3. 世界共通語的性格をもつ英語はもちろん、多文化的なグローバル社会の中で活躍できるコミュニケーション能力を身につけることに意欲をもち、他の人との対話を通して、活動を広げ深めようとする者。

(3) 入学者選抜の基本方針

①一般選抜（前期日程）

幅広い基礎学力を総合的に判定するために、大学入学共通テストを課します。さらに、教科・科目の学力を重視した学力検査を実施し、専門分野の学習に必要な知識・能力を評価します。

②一般選抜（後期日程）

幅広い基礎学力を総合的に判定するために、大学入学共通テストを課します。さらに、小論文を課し、国際・地域社会に関わる課題を提示して論述させ、思考力・分析力・表現力を総合的に評価します。また、面接を実施し、国際・地域の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

③学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

幅広い基礎学力を総合的に判定するために、大学入学共通テストを課します。さらに、面接を実施し、国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

④総合型選抜Ⅰ（高大接続型入試）（大学入学共通テストを課さない）

大学入学共通テストは免除し、第1次選考では、高校での取り組みやその成果に関するレポート等により、取り組みの内容と文章力及び自己アピール力等を判定します。さらに、提出された調査書等に基づき基礎的学力の判定を行います。最終選考では、取り組みに対するプレゼンテーション及び面接（口述試験を含む）により、国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

⑤私費外国人留学生選抜

小論文で、日本語の理解力と表現力を、また、面接によって日本で学ぼうとする意欲・資質・適性等を測ります。これらに日本留学試験とTOEFLの成績を加えて総合的に評価します。

⑥私費外国人留学生選抜（外国人特別枠入試） ※外国人留学生として新たに留学する者

TOEFL (iBT)、IELTS のいずれかの成績、日本語能力試験の成績、出願書類（志願理由書、推薦書、成績証明書）及びインターネットを利用した面接に基づき、総合的に評価します。

Ⅱ 募集人員

学部	学科・課程・コース等		入学定員	募 集 人 員												
				一般選抜				学校推薦型選抜		総合型選抜		私費 外国人 留学生 選抜				
				前期 日程		後期 日程		学校推薦型 選抜Ⅰ		学校推薦型 選抜Ⅱ			総合型 選抜Ⅰ	総合型 選抜Ⅱ		
教 育 学 部	学 校 教 育 課 程	初等教育コース	60	選抜区分		選抜区分		選抜区分		選抜区分						
				文系型	13	統合型	9		面接型 (総合)	16	実技型 (美術)			1		
				理系型	11											
				実技型 (音楽)	2	特別 支援型	5		面接型 (家庭)	1						
				実技型 (体育)	2											
		初等教育コース 計		60	28		14		17			1				
		中等教育コース	40	文系型	8	統合型	6	実技型 (技術)	2	面接型 (総合)	6	実技型 (美術)	2			
				理系型	8					面接型 (家庭)	2					
				実技型 (音楽)	1					実技型 (音楽)	2					
				実技型 (体育)	3											
中等教育コース 計		40	20		6		2		10		2					
教 育 学 部 計		100	48		20		2		27		3		—	—		
医 学 部	医 学 科		110	55		25				30						
	看 護 学 科		60	30		5		25								
	医 学 部 計		170	85		30		25		30		—		—	—	
工 学 部	機械・システム工学科		155	75		65								15	各学科 若干名	
	電気電子情報工学科		125	68		42		5						10		
	建築・都市環境工学科		60	30		17		3						10		
	物質・生命化学科		135	75		40								20		
	応 用 物 理 学 科		50	18		27								5		
	工 学 部 計		525	266		191		8		—		—		60	若干名	
国 際 地 域 学 部	国 際 地 域 学 科		60	30		12				10		8			若干名	
合 計			855	429		253		35		67		11		60		若干名
								102				71				

注1. 学校推薦型選抜Ⅰは、大学入学共通テストを課しません。学校推薦型選抜Ⅱは、大学入学共通テストを課します。

2. 総合型選抜Ⅰは、大学入学共通テストを課しません。総合型選抜Ⅱは、大学入学共通テストを課します。

3. 教育学部、工学部、国際地域学部の学校推薦型選抜・総合型選抜の入学手続数が募集人員に満たない場合は、一般選抜(前期日程)からその不足分を補充します。

4. 教育学部の前期日程、後期日程、学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ、総合型選抜Ⅰの選抜方法については、次頁の「1. 教育学部学校教育課程の選抜方法等」によるものとします。

5. 「専門学校・総合学科卒業生入試」、「帰国生徒・社会人等のための入試」は実施しません。

1. 教育学部学校教育課程の選抜方法等

(1) 募集人員、志願方法、選抜方法等

前期日程

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
文系型	初等教育コース	13名	21名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。 2. 初等教育コース、中等教育コースの志願者を文系型、理系型、実技型(音楽)、実技型(体育)の選抜区分ごとに選抜を行い、所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。
	中等教育コース	8名		
理系型	初等教育コース	11名	19名	
	中等教育コース	8名		
実技型(音楽)	初等教育コース	2名	3名	
	中等教育コース	1名		
実技型(体育)	初等教育コース	2名	5名	
	中等教育コース	3名		
学校教育課程 前期日程 計		48名		

後期日程

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
統合型	初等教育コース	9名	15名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。
	中等教育コース	6名		2. 初等教育コース、中等教育コースの志願者を統合型の選抜区分で選抜を行い、所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。
特別支援型	初等教育コース	5名		初等教育コースのみの志願とし、所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。
学校教育課程 後期日程 計		20名		

学校推薦型選抜Ⅰ

選抜区分	コース	募集人員	選抜グループ及び選抜方法
実技型(技術)	中等教育コース	2名	中等教育コースのみの志願とし、所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。

学校推薦型選抜Ⅱ

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
面接型(総合)	初等教育コース	16名	22名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。
	中等教育コース	6名		
面接型(家庭)	初等教育コース	1名	3名	2. 初等教育コース、中等教育コースの志願者を面接型(総合)、面接型(家庭)の選抜区分で選抜を行い、所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。
	中等教育コース	2名		
実技型(音楽)	中等教育コース	2名		中等教育コースのみの志願とし、所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。
学校教育課程 学校推薦型選抜Ⅱ 計		27名		

総合型選抜Ⅰ

選抜区分		コース		募集人員		選抜グループ及び選抜方法	
実技型(美術)	初等教育コース	1名	3名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。			
	中等教育コース	2名		2. 初等教育コース、中等教育コースの志願者を実技型(美術)の選抜区分で選抜を行い、所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。			
学校教育課程 総合型選抜Ⅰ 計				3名			

(2) 所属コース等の決定

前期日程、後期日程、学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ、総合型選抜Ⅰでは、所属するコース(初等教育コース、中等教育コース)を合格発表時に決定します。入学後のサブコースと選抜区分との関係は原則として下記のとおりです。

所属するサブコースは、2年次前期開始までに本人の希望と入学試験時の選抜区分及び入学後の成績等により決定します。

コース	所属サブコース	選抜区分				
		前期日程	後期日程	学校推薦型選抜Ⅰ	学校推薦型選抜Ⅱ	総合型選抜Ⅰ
初等教育コース	小学校教育サブコース	文系型 理系型 実技型(音楽) 実技型(体育)	統合型 特別支援型	(なし)	面接型(総合) 面接型(家庭)	実技型(美術)
	特別支援教育サブコース					
中等教育コース	人文社会教育サブコース	文系型 理系型 実技型(音楽) 実技型(体育)	統合型	実技型(技術)	面接型(総合) 面接型(家庭) 実技型(音楽)	実技型(美術)
	理数・生活教育サブコース					
	芸術・スポーツ教育サブコース					

2. 工学部の所属コース等の決定

所属コース等の決定

機械・システム工学科，電気電子情報工学科，建築・都市環境工学科，物質・生命化学科において，所属するコースは，2年後期終了時まで本人の希望と入学後の成績等により決定します。
各学科のコースは次のとおりです。

【工学部】

学科	コース	コース配属時期等
機 械 ・ シ ス テ ム 工 学 科	機械工学コース	応用物理学科を除く各学科のコース 選択は2年後期終了時までに行い，そ の後各コースへの配属となります。 なお，機械・システム工学科の原子 力安全工学コースの学生は，コース配 属の3年次から敦賀キャンパスにおい て教育を受けます。
	ロボティクスコース	
	原子力安全工学コース	
電 気 電 子 情 報 工 学 科	電子物性工学コース	
	電気通信システム工学コース	
	情報工学コース	
建 築 ・ 都 市 環 境 工 学 科	建築学コース	
	都市環境工学コース	
物 質 ・ 生 命 化 学 科	繊維・機能性材料工学コース	
	物質化学コース	
	バイオ・応用医工学コース	
応 用 物 理 学 科	※コース選択はありません	

Ⅲ 一般選抜

1. 出願資格

本学の一般選抜に出願をすることができる者は、次のいずれかに該当し、かつ志望する学部・学科等が指定する令和3年度大学入学共通テスト（以下、「大学入学共通テスト」という。）の教科・科目（21～26ページを参照）をすべて受験した者としてします。

- （1）高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和3年3月31日までに卒業見込みの者
- （2）通常の課程による12年の課程を修了した者又は令和3年3月31日までに修了見込みの者
- （3）学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次のいずれかに該当するもの又は令和3年3月31日までにこれに該当する見込みのもの
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和3年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者若しくは令和3年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和3年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験の合格者又は令和3年3月31日までに合格見込みの者で、令和3年3月31日までに18歳に達するもの（大学入学資格検定合格者を含む。）
 - ⑥ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者である場合は、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑦ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和3年3月31日までに18歳に達するもの

※出願資格（3）の⑥により出願を希望する者は、出願期間開始10日前までに本学学務部入試課へ問い合わせてください。

※出願資格（3）の⑦により出願を希望する者は、29ページ記載の「6. 入学資格審査を要する者の事前相談」に従い、手続きを行ってください。

※出願資格に不明な点がある場合には、出願前に本学学務部入試課へ文書により問い合わせてください。

2. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、分離分割方式（前期日程・後期日程）で実施し、大学入学共通テストの成績並びに個別学力検査等の成績、調査書の内容を総合して行います。

学部別の入学者の選抜方法は、次の（1）から（5）までのとおりです。

- （1）入学者選抜方法等（17～20 ページ）
- （2）入学者選抜の実施教科・科目等（21～26 ページ）
- （3）一般選抜の実技検査内容（27 ページ）
- （4）一般選抜の小論文、面接の内容（出題方針）等（27 ページ）
- （5）医学部医学科の前期日程・後期日程において2段階選抜を行うことがあります。（18 ページ）
教育学部・医学部看護学科・工学部・国際地域学部では2段階選抜は行いません。

なお、本学が課す大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目を、一部でも受験していない場合は失格となります。

(1) 入学者選抜方法等 (個別学力検査等)

〔教育学部〕

選抜方法等					個別学力検査等							個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)							
					実技検査等					調査書等	2段階選抜									
					個別学力検査を課する	実技検査を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	調査書	本人の記載する資料	大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その必要等を行う			第1段階の選抜による合格者数	定員に対する倍率	その他				
学部・課程・コース等					選抜区分															
教育学部	前期日程	学校教育課程	初等教育コース・中等教育コース	文系型	初等教育コース	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	令和3年 2月25日(木)	欠員補充の方法 1. 追加合格により補充します。 2. 追加合格によってもなお欠員が生じた課程がある場合には、欠員補充第2次募集を行うことがあります。			
					中等教育コース															
				理系型	初等教育コース	○	×	×	×	×										
					中等教育コース															
				実技型（音楽）	初等教育コース	×	○	○	○	×										
					中等教育コース															
				実技型（体育）	初等教育コース	×	○	×	○	×										
					中等教育コース															
	後期日程	学校教育課程	初等教育コース・中等教育コース	統合型	初等教育コース	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	令和3年 3月12日(金)				
					中等教育コース															
				特別支援型	初等教育コース	×	×	×	○	×										

注1. 各項目について、該当するものに○印、該当しないものには×印を付しています。

- 学習成績概評A段階に属し、人物、学力ともに特に優秀で、出身学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書の「学習成績概評」欄に㊤と標示し、その理由を記載してください。
- 面接には口述試験を含みます。

〔医学部〕

選抜方法等 <		
--	--	--

注1. 各項目について、該当するものに○印、該当しないものには×印を付しています。

2. 学習成績概評A段階に属し、人物、学力ともに特に優秀で、出身学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書の「学習成績概評」欄に㊤と標示し、その理由を記載してください。

〔工学部〕

選抜方法等 		
---	--	--

注1. 各項目について、該当するものに○印、該当しないものには×印を付しています。

2. 学習成績概評A段階に属し、人物、学力ともに特に優秀で、出身学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書の「学習成績概評」欄に㊤の標示をし、その理由を記載してください。

〔国際地域学部〕

選抜方法等 <		
--	--	--

注1. 各項目について、該当するものに○印、該当しないものには×印を付しています。

2. 学習成績概評A段階に属し、人物、学力ともに特に優秀で、出身学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書の「学習成績概評」欄に㊤と標示し、その理由を記載してください。

学部・課程・コース名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等の実施科目等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考		
	選 抜 区 分	教科		科 目 名 等		教科等	科 目 名 等	試験の区分	数 学					実 技 等			調査書等 本人の希望 により異なる	配点 合計
		国語	英語	国語	英語				公民	①	②	③	④	⑤	外国語	実技		
教 育 学 部	統合型 初等教育コース (9) 中等教育コース (6)	国語	国語	国語	国語	実技等 「小論文」 調査書等 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とします	国語	共通テスト	200	200	100	100	*100	*100	200			900
		英語	英語	英語	英語			個別学力検査									400	
		計	200	200	100			100	100	200	400					1300		
		共通テスト	200	100	100			200	200				900					
初等教育コース (14)	学校教育課程 初等教育コース (14) 中等教育コース (6)	国語	国語	国語	国語	実技等 「小論文」 調査書等 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とします	国語	共通テスト	200	100	100	100	200	200	400			900
		英語	英語	英語	英語			個別学力検査									400	
		計	200	200	100			100	100	200	400					1300		
		共通テスト	200	100	100			200	200				900					
初等教育コース (6)	特別支援型 初等教育コース (5)	国語	国語	国語	国語	実技等 「小論文」 調査書等 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とします	国語	共通テスト	200	200	100	100	*100	*100	200			900
		英語	英語	英語	英語			個別学力検査									400	
		計	200	200	100			100	100	200	400					1300		
		共通テスト	200	100	100			200	200				900					
初等教育コース (9)	初等教育コース (9) 中等教育コース (6)	国語	国語	国語	国語	実技等 「小論文」 調査書等 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とします	国語	共通テスト	200	200	100	100	200	200	400			900
		英語	英語	英語	英語			個別学力検査									400	
		計	200	200	100			100	100	200	400					1300		
		共通テスト	200	100	100			200	200				900					

【(1) 注意 (前期日程・後期日程共通)】

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

- 受験することを課した教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、大学入試センターからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。
ただし、「地理」、「公民」及び「理②」の科目において、本学が1科目を課する場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。
- 第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので十分注意してください。
- 「理①」及び「理②」から3科目を受験している場合は、「理①」2科目合計の得点又は「理②」の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。
- 「地理」、「公民」で「理②」で4科目受験している場合(「地理」、「公民」2科目+「理②」2科目)、以下のよう成績を用います。
 - ①「地理」、「公民」の第1解答科目
 - ②「理②」の第1解答科目
 - ③「地理」、「公民」及び「理②」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- 「地理」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- 「簿」、「情報」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- 外国語「英」は、リーディングの得点(100点満点)を150点に、リスニングの得点(100点満点)を50点に換算し、合計得点(200点満点)を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、「英」のリーディングの得点(100点満点)を本学の配点に換算します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- *印は選択を示します。
- 「100/*400」という表記は、個別学力検査でその教科・科目を選択しなかった場合は合計400点とすることを示します。
- 実技型小論文の配点○は、実技の配点に含まれます。

【個別学力検査等の実施科目等】欄

- 数学の出題範囲は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」の全範囲とします。「数学A」は、「数Ⅰ」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

【医学部】

前期日程 2月25日、26日

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等				個別学力検査等の実施科目等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												備考	
		教科		科 目 名 等		教科等	科 目 名 等		数 学						実技等		調査書等	配点 合計					
									国語	歴史	公民	数 学	理 科	外国語	実技	面接			小論文その他	調査書			
医 学 科 前期(55)	医 学 科 前期(55)	国語	「世B」、「日B」、「地理B」	} から1	数 理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」から2 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」 「コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ」 「調査書」 ※調査書は面接の際に活用します	200	100	100	100	200	200	200	200	100	100	○	900	700				
		公民	「倫・政経」																	外 実技等 調査書等	200	100	400
看 護 学 科 前期(30)	看 護 学 科 前期(30)	国語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	} から1	調査書等	「小論文」 「面接」 「調査書」 ※調査書は面接の際に活用します	200	100	100	100	*100	*100	200	100	150	○	800	250					
		公民	「現代」、「倫」、「政経」、「倫・政経」																200	100	100	100	150

後期日程 3月12日

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等				個別学力検査等の実施科目等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		教科	科 目 名 等			教科等	科 目 名 等	試験の区分	数 学				理 科				実 技 等				調査書等		配点 合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			国語	公民	英語				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫				⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
医 学 科 後期(25)		国語	「世B」、「日B」、「地理B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」	から1	公民	「倫・政経」	英語	「世

(1) 注意 (前期日程・後期日程共通)

医学部医学科においては、志願者数が前期日程で募集人員の約5倍を超えた場合、後期日程で募集人員の約7倍を超えた場合に、大学入学共通テストの利用教科・科目の配点による成績の総得点により、前期日程は募集人員の約5倍、後期日程は募集人員の約7倍の範囲内で合格者とする第1段階選抜を行うことがあります。その場合は、第1段階選抜合格者に対してのみ個別学力検査等を実施します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

- 「地理」、「公民」及び看護学科の「理②」の科目において、2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので十分注意してください。
- 「簿」、「情報」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- 医学部看護学科において、「理①」2科目及び「理②」1科目の3科目を受験している場合は、「理①」2科目合計の得点又は「理②」の得点のうち、いずれか高い成績を採用します。
- 外国語「英」は、リーディングの得点(100点満点)を50点に換算し、合計得点(200点満点)を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、「英」のリーディングの得点(100点満点)を本学の配点に換算します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

○ *印は選択を示します。

【個別学力検査等の実施科目等】欄

- 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」は、「数Ⅰ」と「数Ⅱ」を出題範囲とします。
- 「物理基礎・物理」は、「物理基礎」と「物理」の全範囲から出題します。
- 「化学基礎・化学」は、「化学基礎」と「化学」の全範囲から出題します。
- 「生物基礎・生物」は、「生物基礎」と「生物」の全範囲から出題します。
- 面接の評価が著しく低い場合には、総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。

【工学部】

前期日程 2月25日

【令和3年度】

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等				個別学力検査等の実施科目等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考				
教科		科 目 名 等				教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数 学			理 科	外国語	実技等	調査書等	配点 合計					
									①	②	①	②	③	①	②	その他	小論文	調査書	本人の記録 する資料					
機械・システム工学科 前期(75)	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,	} から1	}	}	数 理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とします	共通テスト 個別学力検査	200	100		100	100	100	200					900				
	地歴	「地理A」,「地理B」,「倫・政経」																					600	
	公民	「現社」,「数Ⅰ」,「政経」,「倫・政経」							調査書等	「調査書」														1500
電気電子情報工学科 前期(68)	数①	「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1	} から1	}	}	数 理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とします	共通テスト 個別学力検査	200	100	100	100	100	200					900					
	数②	「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から2																					600	
	理②	「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から1																					1500	
建築・都市環境工学科 前期(30)	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,	} から1	}	}	数 理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とします	共通テスト 個別学力検査	200	100		100	100	100	200					900				
	地歴	「地理A」,「地理B」,「倫・政経」																					600	
	公民	「現社」,「数Ⅰ」,「政経」,「倫・政経」							調査書等	「調査書」														1500
物質・生命化学科 前期(75)	数①	「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1	} から1	}	}	数 理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とします	共通テスト 個別学力検査	200	100		100	100	100	200					900				
	数②	「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から2																						600
	理②	「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から1																						1500
応用物理学科 前期(18)	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,	} から1	}	}	数 理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とします	共通テスト 個別学力検査	200	100		100	100	100	200					900				
	地歴	「地理A」,「地理B」,「倫・政経」																						600
	公民	「現社」,「数Ⅰ」,「政経」,「倫・政経」							調査書等	「調査書」														1500
	数①	「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1	} から1	}	}	数 理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とします	共通テスト 個別学力検査	200	100		100	100	100	200					900				
	数②	「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から2																						600
	理②	「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から1																						1500

学部・学科名			大学入学共通テストの利用教科・科目名等				個別学力検査等の実施科目等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考	
学科	科目	科目名等	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国 語	地 理 史	公 民	教 科				外 国 語	実 技	面 接	小 論 文	その他	調 査 書 等	配 点 合 計			
									数 学	理 科	①	②										
機械・システム工学科 後期(65)	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とします	共通テスト 個別学力検査	200	100	100	100	100	200	200					○		900 300			
	公民	「現社」,「倫」,「政経」,「倫・政経」																				
	数①	「教Ⅰ・数A」,「簿」,「情報」から1																				
	数②	「教Ⅱ・数B」,「薄」,「情報」から1																				
理②	「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から2																					
外	「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から1																					
電気電子情報工学科 後期(42)	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とします	共通テスト 個別学力検査	200	100	100	100	400 (物理300 情報科目100)	200	200					○		1100 400			
	公民	「現社」,「倫」,「政経」,「倫・政経」																				
	数①	「教Ⅰ・数A」,「簿」,「情報」から1																				
	数②	「教Ⅱ・数B」,「薄」,「情報」から1																				
理②	「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から1																					
外	「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から1																					
建築・都市環境工学科 後期(17)	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とします	共通テスト 個別学力検査	200	100	100	100	300	200	200					○		900 300			
	公民	「現社」,「倫」,「政経」,「倫・政経」																				
	数①	「教Ⅰ・数A」,「簿」,「情報」から1																				
	数②	「教Ⅱ・数B」,「薄」,「情報」から1																				
理②	「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から2																					
外	「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から1																					
物質・生命化学科 後期(40)	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とします	共通テスト 個別学力検査	200	100	100	100	200 (物理科目 各200)	200	200					○		1100 200			
	公民	「現社」,「倫」,「政経」,「倫・政経」																				
	数①	「教Ⅰ・数A」,「簿」,「情報」から1																				
	数②	「教Ⅱ・数B」,「薄」,「情報」から1																				
理②	「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から2																					
外	「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から1																					
応用物理学科 後期(27)	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とします	共通テスト 個別学力検査	200	100	100	100	400 (物理科目 各200)	200	200					○		900 400			
	公民	「現社」,「倫」,「政経」,「倫・政経」																				
	数①	「教Ⅰ・数A」,「簿」,「情報」から1																				
	数②	「教Ⅱ・数B」,「薄」,「情報」から1																				
理②	「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から1																					
外	「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から1																					

(1) 注意 (前期日程・後期日程共通)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

- 「地理」,「公民」の科目において,2科目受験者の成績の利用は,第1解答科目の得点を採用します。
- 「簿」,「情報」を選択解答できる者は,高等学校又は中等教育学校において,これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限りです。
- 〈後期日程〉電気電子情報工学科の「理②」は,「物理」の得点を300点に,「化学」,「生物」,「地学」から選択した1科目を100点に換算し,合計得点(400点満点)を本学の配点に換算します。
- 〈後期日程〉物質・生命化学科の「理②」は,「物理」,「化学」,「生物」から選択した2科目をそれぞれ200点に換算し,合計得点(400点満点)を本学の配点に換算します。
- 外国語「英」は,リーディングの得点(100点満点)を50点に換算し,合計得点(200点満点)を本学の配点に換算します。ただし,リスニングを免除されている場合には,「英」のリーディングの得点(100点満点)を本学の配点に換算します。

【個別学力検査等の実施科目等】欄

- 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」は,「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」の全範囲から出題します。「数学B」は,「数列」,「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「物理基礎・物理」は,物理基礎,物理の全範囲から出題します。
- 「化学基礎・化学」は,化学基礎,化学の全範囲から出題します。

【国際地域学部】

前期日程 2月25日

【令和3年度】

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等				個別学力検査等の実施科目等										大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考	
国際地域学部	前期 (30)	教科		科 目 名 等		教科等	科 目 名 等		教科 学					実技等			調査書等		配点 合計								
		国 際 地 域 学 部	外 国 語 ・ 英 語 ・ 中 国 語 ・ 日 本 語 ・ 他 の 外 国 語	数 学 ・ 理 学 ・ 工 学 ・ 農 学 ・ 医 学 ・ 歯 学 ・ 薬 学 ・ 生 物 学 ・ 地 学 ・ 他 の 理 学 ・ 工 学 ・ 農 学 ・ 医 学 ・ 歯 学 ・ 薬 学 ・ 生 物 																							

後期日程 3月12日

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等				個別学力検査等の実施科目等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考	
国際地域学部	国際地域学科	教科		科 目 名 等		教科等		科 目 名 等		試験の区分		教科 学				実 技 等		調査書等		配点 合計	
		国 語	地 理 史	公民	数 学	理 科	外国語	実 技	面接	小論文	その他	調査書	本人の志願 する資料								
														①	②	①	②				
																		①	②		①
			「国」から1 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」から1 「理社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」から1 「数Ⅰ・数A」、「数Ⅰ・数B」、「簿」、「情報」から1 「数①と数②を併せて」教科2教科 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 または 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1 〔3教科3科目または4科目または5科目〕		実技等	「小論文」 「面接（個人面接）」 「調査書」 ※調査書は面接の際に活用します	共通テスト	*200	*200	*200	*200	*200	*200	200				600			
						調査書等				個別学力検査						100	200	○	300		
																			900		
										計		*200	*200	*200	*200	100	200				

(1) 注意 (前期日程・後期日程共通)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】**欄**

- 受験することを課した教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、大学入試センターからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。
ただし、「地理」、「公民」及び「理②」の科目において、本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。
第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので十分注意してください。
- 「理①」及び「理②」から3科目を受験している場合は、「理①」2科目合計の得点又は「理②」の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。
- 「簿」、「情報」を併せて1教科
○ 「薄」、「情報」を併せて1教科
○ 「簿」、「情報」を併せて1教科
○ 「理①」及び「理②」から3科目を受験している場合は、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- 「簿」、「情報」を併せて1教科
○ 「薄」、「情報」を併せて1教科
○ 「簿」、「情報」を併せて1教科
- 外国語「英」は、リーディングの得点(100点満点)を150点に、リスニングの得点(100点満点)を50点に換算し、合計得点(200点満点)を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、「英」のリーディングの得点(100点満点)を本学の配点に換算します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】**欄**

- *印は選択を示します。
- 「200・*500」という表記は、個別学力検査でその教科・科目を選択しなかった場合は200点、選択した場合は合計500点とすることを示します。

【国際地域学部における外国語検定試験の活用】

- 外国語検定試験の成績を活用し、IBT TOEFL100点以上の者は、大学入学共通テストの外国語の得点を満点(200点)とします。ただし、これらの検定試験の成績は平成31(2019)年4月以降のものとし、

【個別学力検査等の実施科目等】**欄**

- 数学の出題範囲は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」の全範囲とします。「数学B」は、「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

(3) 一般選抜の実技検査内容(教育学部学校教育課程)

日程	コース名・選抜区分		実技検査等の内容
前期日程	初等教育コース・中等教育コース	実技型(音楽)	実 技 1. ピアノ実技 2. 次の2つからどちらかを選択する。 ①声楽実技 ②管弦打楽器実技(オーケストラ, 吹奏楽で通常使用される楽器に限る。判断が難しい場合は, 問い合わせをして下さい。)
	初等教育コース・中等教育コース	実技型(体育)	実 技 1. 基礎的運動能力に関する課題(スポーツ庁新体力テストに準ずる課題) 2. スポーツスキルに関する基礎的課題 器械運動(マット運動), 陸上競技(ハードル走), 球技(バスケットボール, バレーボール), 体づくり運動に関する課題を必須とします。 注: イ. スポーツウェアと屋内シューズを用意してください。 ロ. 必要に応じて, 飲み物, 汗ふきタオル等を用意してください。 ハ. 必要な用具は本学で準備します。

(4) 一般選抜の小論文, 面接の内容(出題方針)等

学部	日程	課程・コース, 選抜区分, 学科等			区 分	小論文, 面接の内容(出題方針)等
教育学部	前期日程	学 校	初等教育コース・中等教育コース	実技型(音楽)	実技型小論文	音楽や音楽の演奏に関わる技術や知識についての課題を提示し, 論理的思考力, 表現力等を総合的に評価します。資料や文献を用いることもあります。
					面 接	個人面接(口述試験を含む) 音楽や音楽教育に関しての興味, 意欲等 音楽に関する基礎的な知識 これまでの学習歴(音楽実技を中心に)について
		教 育	初等教育コース・中等教育コース	実技型(体育)	実技型小論文	スポーツに関する文化, 技術, 社会に関わる課題を提示し, 論理的思考力, 表現力等を総合的に評価します。資料や文献を用いることもあります。
	後期日程	課 程	初等教育コース・中等教育コース	統合型	小論文	教育, 文化, 科学・技術, 人間の発達に関わる課題を提示して論述させ, 論理的思考力, 表現力を総合的に評価します。資料や文献を用いることもあります。
			初等教育コース	特別支援型		教育, 文化, 科学・技術, 人間の発達に関わる課題に加え, 特別支援教育に関連する資料を提示して論述させ, 論理的思考力, 表現力を総合的に評価します。資料や文献を用いることもあります。
医学部	前期日程	医学科			面 接	個人面接により人間性, 自主性, 思考力, 表現力, 責任感など医学科学生としての適性, 能力を評価します。
		看護学科			小論文	国際・地域の諸課題を提示し, 課題の理解力, 論理の構成力, 文章表現力等を総合的に評価します。
					面 接	個人面接により看護・社会に関心を持ち, 看護学を学ぶ積極性, 表現力等, 看護学生としての適性や能力等に加え, 地域医療に対する意欲についても評価します。
	後期日程	医学科			小論文	課題(和文, 英文の両方又はいずれかで出題されます)の理解力, 論理の構成力, 文章表現力等を評価します。
					面 接	個人面接により人間性, 自主性, 思考力, 表現力, 責任感など医学科学生としての適性, 能力を評価します。
		看護学科			小論文	医療・看護・健康に関する諸課題を提示し, 課題の理解力, 論理の構成力, 文章表現力等を総合的に評価します。
国際地域学部	後期日程	国際地域学科			小論文	国際・地域社会に関わる諸課題を提示して論述させ, 思考力・分析力・表現力を評価します。資料や文献を用いることもあります。
					面 接	個人面接により国際・地域の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

3. 出願期間, 個別学力検査等の日程及び合格者発表

(1) 出願期間

令和3年1月25日(月)から2月5日(金)まで(必着)

(2) 個別学力検査等の日程

日 程	学 部	試 験 科 目 等	試験時間
前期日程	2月25日 (木)	教育学部	数学(110分)
		国際地域学部	国語(100分)
		外国語(英語)(100分)	15:10～16:50
		教育学部 実技型(音楽)	実技・面接・実技型小論文
		実技型(体育)	実技・実技型小論文
			9:20～
	医学部	医 学 科	数学(110分)
		理科(物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物)(120分) (試験時に2科目を選択)	12:20～14:20
		外国語(英語)(110分)	15:10～17:00
		看護学科	小論文(90分)
	工学部	全 学 科	数学(110分)
		機械・システム工学科	理科(物理基礎・物理)(110分)
		電気電子情報工学科	
		応用物理学科	
		建築・都市環境工学科	理科(物理基礎・物理, 化学基礎・化学)(110分) (試験時に1科目を選択)
		物質・生命化学科	
後期日程	3月12日 (金)	教育学部	小論文(120分)
		国際地域学部	小論文(120分)
		面接	13:00～
		医学部 医 学 科	小論文(90分)
		看護学科	面接
			12:30～
		工学部 全 学 科	数学(110分)
			9:30～11:20

(3) 合格者発表

前期日程 令和3年3月6日(土)

後期日程 令和3年3月20日(土・祝)

4. 欠員補充

入学定員に欠員が生じた場合は、本学個別学力検査等（前期日程・後期日程）を受験し合格者とならなかった者の中から追加合格により補充します。

また、追加合格によってもなお入学定員に欠員が生じた場合には、新たに欠員補充第2次募集を行うことがあります。

5. 障がいのある入学志願者等の事前相談

本学入学志願者で、病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、令和3年1月19日（火）までに本学学務部入試課または松岡キャンパス学務課に事前相談の申請をしてください。

また、期限後にやむを得ない事情等により申請が必要となった場合には、速やかに電話等により相談してください。

(1) 相談の方法

申請書、医師の診断書等を提出することとし、相談が必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

事前相談の申請方法等については、本学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「トップページ」→「受験生の方へ」内の障がいのある入学志願者等の事前相談から確認してください。

(2) 連絡先 福井大学学務部入試課（教育学部，工学部，国際地域学部）

〒910-8507 福井市文京3-9-1 電話 0776-27-9927

福井大学学務部松岡キャンパス学務課（医学部）

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月2-3-3 電話 0776-61-8830

6. 入学資格審査を要する者の事前相談

本学に出願を希望する者で、本学において個別の入学資格審査による認定を要する者（一般選抜の出願資格（3）の⑦該当者）は、出願の前に、次により相談してください。

(1) 相談の時期 令和2年8月3日（月）～8月31日（月）

他大学で入学資格認定を受けた者で、大学入学共通テストの出願後に本学の入学資格審査を希望する場合は、個別学力検査出願受付開始日の5日前までとします。

個別の入学資格審査の詳細については、本学のホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「トップページ」→「受験生の方へ」内の入学資格審査を参照してください。

(2) 連絡先 福井大学学務部入試課 〒910-8507 福井市文京3-9-1 電話 0776-27-9927

7. 入学試験個人成績の開示

本学では、受験者の入学試験個人成績（一般選抜のみ）を本人に限って開示します。令和3年度入学試験の成績開示は次の要領により行うので、希望者は令和3年5月6日（木）以降に申し出てください。

ただし、個別学力検査等を一部でも受験していない者及び医学部医学科第1段階選抜不合格者については開示を行いません。

① 申込期間 令和3年5月6日（木）～6月30日（水）必着（予定）

② 申込者 受験者本人に限ります（代理人は不可）。

③ 申込方法 本学受験票（申し込み時まで要保管）と返信用封筒（長形3号：本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、切手519円分*貼付）を添えて、一般選抜学生募集要項の所定の用紙により郵送又は持参で申し込んでください。

※開示期間までに郵便料金が改定される可能性があります。詳細は一般選抜学生募集要項によりご確認ください。

④ 開示方法 受験者本人あての書留郵便で後日送付（受験票も返却）します。

IV 学校推薦型選抜

1. 入学者選抜方法等

学部・課程・コース・学科等					学 校 推 薦 型 選 抜										備 考
					入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する										
					大学入学共通テスト	個別学力検査	実 技 検 査 等					調査書等			
実技検査	面接	小論文	外国語におけるリスニングテスト	その他			調査書	推薦書（注6）	本人の記載する資料（注7）						
選抜区分															
教育学部	学校教育課程	初等教育コース・中等教育コース	面接型（総合）	初等教育コース	○	×	×	○（注3）	×	×	○（注4）	○（注5）	○	○（注8）	
			中等教育コース												
		面接型（家庭）	初等教育コース	○	×	×	○（注3）	×	×	○（注4）	○（注5）	○	○（注8）		
			中等教育コース												
		実技型（技術）	初等教育コース	×											
			中等教育コース	×	×	○	○（注3）	○	×	×	○（注5）	○	○（注8）		
		実技型（音楽）	初等教育コース	×											
			中等教育コース	○	×	○	○（注3）	×	×	×	○（注5）	○	○（注8）		
医学部	医学科				○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	
	看護学科				×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	
工学部	機械・システム工学科				×										
	電気電子情報工学科				×	×	×	○（注3）	×	×	×	○	○	○	
	建築・都市環境工学科				×	×	×	○（注3）	×	×	○（注4）	○	○	○	
	物質・生命化学科				×										
	応用物理学科				×										
国際地域学部	国際地域学科				○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	

- 注 1. 各項目について、該当するものに○印、該当しないものには×印を付しています。
2. 学習成績概評A段階に属し、人物、学力ともに特に優秀で、出身学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書の「学習成績概評」欄に ㊤と標示し、その理由を記載してください。
3. 教育学部、工学部の面接には口述試験を含みます。
4. 教育学部（面接型（総合・家庭））及び工学部建築・都市環境工学科の「実技検査等」のうち、「その他」の○印は、プレゼンテーションです。
5. 教育学部の調査書について、学校運営の方針及び学校設定教科・科目等の内容や目標等に関する情報を備考欄に記載してください。
6. 推薦書について、志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を記載してください。その際、志願者の努力を要する点などについても、その後の指導において特に配慮を要するものがあれば記載してください。
7. 「本人の記載する資料」の○印は、志願理由書です。また、工学部建築・都市環境工学科においては、志望理由書のほかに、取り組みと成果に関するレポートを課します。
8. 教育学部での、「本人の記載する資料」として、志願理由書の他、高大連携に関連した行事やイベントに参加した時の学びの形跡がわかる資料がある場合には、資料の一部として提出してもかまいません。

2. 学校推薦型選抜の選抜方法

(1) 学校推薦型選抜Ⅰ

(教育学部)

実施学部・課程・ コース（選抜区分）	教育学部 学校教育課程 中等教育コース（実技型（技術））
募 集 人 員	2 人
推 薦 要 件	次の各号に該当する者で、出身学校長が、本課程・コースの学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め、責任をもって推薦できる者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者 (2) 高等専門学校第3学年を修了した者又は令和3年3月に修了見込みの者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者が望ましい (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、下記(1)及び(2)の選考結果を総合して合格者を決定します。（配点非公表） (1) 学校長の推薦書、調査書及び志願者本人の志願理由書 (2) 実技検査、面接（口述試験を含む）、実技型小論文による選考
出 願 期 間	令和2年11月2日（月）～9日（月）
選 抜 期 日	令和2年11月21日（土）
合 格 発 表 日	令和2年12月9日（水）
そ の 他	調査書の学習成績概評が㊦に相当する者については、㊦標示とその理由を記載してください。 調査書の備考欄に、学校運営の方針及び学校設定教科・科目等の内容や目標等に関する情報を記載してください。 各高等学校等から推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。 詳細は、「令和3年度学校推薦型選抜（教育学部）学生募集要項」（9月上旬発表予定）によります。

注：高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

(医学部)

実施学部・学科	医学部 看護学科
募集人員	25人
推薦要件	高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を令和3年3月に卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たす者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の生徒のうち、人物、学力ともに優秀であると学校長が責任をもって推薦できる者 (2) 特に、看護学の勉学を強く希望し、将来はその専門分野における実践・指導に携わることを決意している者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	大学入学共通テストを免除し、下記(1)及び(2)の選考結果を総合して合格者を決定します。（配点合計300点） (1) 学校長の推薦書、調査書及び志願者本人の志願理由書 ※点数化しませんが、面接の際に活用します (2) 小論文（200点）、面接（100点）による選考
出願期間	令和2年11月2日（月）～9日（月）
選抜期日	令和2年11月21日（土）
合格発表日	令和2年12月18日（金）
その他	調査書の学習成績概評が㊤に相当する者については、㊤標示とその理由を記載してください。 各高等学校等から推薦できる人数は、1校につき10人以内とします。 詳細は、「令和3年度学校推薦型選抜（医学部）学生募集要項」（9月上旬発表予定）によります。

注：高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

(工学部)

実施学部・学科	工学部 電気電子情報工学科
募 集 人 員	5 人
推 薦 要 件	高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校の普通科・理数科等以外の学科を令和 3 年 3 月に卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たす者 (1) 出身学校長が、本学科の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め、責任をもって推薦できる者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、下記(1)及び(2)の選考結果を総合して合格者を決定します。（配点合計390点） (1) 学校長の推薦書，調査書及び志願者本人の志願理由書（各30点） ※面接の際にも活用します (2) 面接（口述試験を含む）（300点）
出 願 期 間	令和 2 年11月 2 日（月）～ 9 日（月）
選 抜 期 日	令和 2 年11月21日（土）
合 格 発 表 日	令和 2 年12月 9 日（水）
そ の 他	調査書の学習成績概評が㊦に相当する者については、㊦標示とその理由を記載してください。 各高等学校等から推薦できる人数は制限しません。 詳細は、「令和 3 年度工学部学校推薦型選抜 I 学生募集要項」（8 月下旬発表予定）によります。

注 1. 高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

2. 「普通科，理数科等」とは，高等学校設置基準（平成 16 年文部科学省令第 20 号）第 6 条第 1 項に定める「普通科」，同条第 2 項第 9 号に定める「理数に関する学科」のことをいいます（同条第 3 項に定める「総合学科」で専門教育に関する教科・科目の修得単位数が 20 単位未満の者を含む）。

実施学部・学科	工学部 建築・都市環境工学科
募 集 人 員	3 人
推 薦 要 件	高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校の普通科・理数科等以外の学科を令和 3 年 3 月に卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たす者 (1) 出身学校長が、本学科の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め、責任をもって推薦できる者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、下記(1)～(3)の選考結果を総合して合格者を決定します。（配点合計500点） (1) 学校長の推薦書，志願者本人の志願理由書（各30点）及び調査書（40点） ※面接の際にも活用します (2) 面接（口述試験を含む）（200点） (3) プレゼンテーション（200点） プレゼンテーションでは、出願時に提出された高校での取り組みと成果に関するレポートについて口頭発表してもらいます。なお口頭発表は、パソコンの使用，必要な資料の持ち込みを可とします。引き続き、プレゼンテーションの内容に関する質疑応答を含めた面接を行います。
出 願 期 間	令和 2 年11月 2 日（月）～ 9 日（月）
選 抜 期 日	令和 2 年11月21日（土）
合 格 発 表 日	令和 2 年12月 9 日（水）
そ の 他	調査書の学習成績概評が㊤に相当する者については、㊤標示とその理由を記載してください。 各高等学校等から推薦できる人数は制限しません。 詳細は、「令和 3 年度工学部学校推薦型選抜 I 学生募集要項」（8 月下旬発表予定）によります。

注 1. 高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

2. 「普通科，理数科等」とは，高等学校設置基準（平成 16 年文部科学省令第 20 号）第 6 条第 1 項に定める「普通科」，同条第 2 項第 9 号に定める「理数に関する学科」のことをいいます（同条第 3 項に定める「総合学科」で専門教育に関する教科・科目の修得単位数が 20 単位未満の者を含む）。

(2) 学校推薦型選抜Ⅱ

(教育学部)

実施学部・課程・ コース（選抜区分）	教育学部 学校教育課程 初等教育コース・中等教育コース（面接型（総合））
募 集 人 員	22人（初等教育コース 16人，中等教育コース 6人）
推 薦 要 件	次の各号に該当する者で，出身学校長が，本課程・コースの学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め，責任をもって推薦できる者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和3年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績，面接（プレゼンテーション及び口述試験を含む），調査書，推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名については，41ページを参照してください。
出 願 期 間	令和2年12月7日（月）～11日（金）
選 抜 期 日	令和3年1月23日（土）
合 格 発 表 日	令和3年2月15日（月）
そ の 他	調査書の学習成績概評が㊦に相当する者については，㊦標示とその理由を記載してください。 調査書の備考欄に，学校運営の方針及び学校設定教科・科目等の内容や目標等に関する情報を記載してください。 各高等学校等から推薦できる人数は制限しません。 詳細は，「令和3年度学校推薦型選抜（教育学部）学生募集要項」（9月上旬発表予定）によります。

注：高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

実施学部・課程・ コース（選抜区分）	教育学部 学校教育課程 初等教育コース・中等教育コース（面接型（家庭））
募 集 人 員	3人（初等教育コース 1人，中等教育コース 2人）
推 薦 要 件	次の各号に該当する者で，出身学校長が，本課程・コースの学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め，責任をもって推薦できる者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和3年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績，面接（プレゼンテーション及び口述試験を含む），調査書，推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名については，41ページを参照してください。
出 願 期 間	令和2年12月7日（月）～11日（金）
選 抜 期 日	令和3年1月23日（土）
合 格 発 表 日	令和3年2月15日（月）
そ の 他	調査書の学習成績概評が㊦に相当する者については，㊦標示とその理由を記載してください。 調査書の備考欄に，学校運営の方針及び学校設定教科・科目等の内容や目標等に関する情報を記載してください。 各高等学校等から推薦できる人数は制限しません。 詳細は，「令和3年度学校推薦型選抜（教育学部）学生募集要項」（9月上旬発表予定）によります。

注：高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

実施学部・課程・ コース（選抜区分）	教育学部 学校教育課程 中等教育コース（実技型（音楽））
募 集 人 員	2 人
推 薦 要 件	次の各号に該当する者で，出身学校長が，本課程・コースの学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め，責任をもって推薦できる者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者 又は令和3年3月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和3年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績，実技検査，面接（口述試験を含む），調査書，推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名については，41ページを参照してください。 ○実技検査 次の選択課題からいずれか1つの課題を課します。 選択課題（出願時にA群①，A群②，B群，C群のいずれか1つを選択する） A群① ピアノを主とし，声楽を副とする。 A群② ピアノを主とし，管弦打楽器を副とする。 B群 声楽を主とし，ピアノを副とする。 C群 管弦打楽器を主とし，ピアノを副とする。（オーケストラ，吹奏楽で通常使用される楽器に限る。判断が難しい場合は問い合わせをして下さい。） ※B群を選択するものは，出願書類とともに「伴奏譜」を提出してください。 ※C群を選択するものは，伴奏なしで行うものとする。
出 願 期 間	令和2年12月7日（月）～11日（金）
選 抜 期 日	令和3年1月23日（土）
合 格 発 表 日	令和3年2月15日（月）
そ の 他	調査書の学習成績概評が㊦に相当する者については，㊦標示とその理由を記載してください。 調査書の備考欄に，学校運営の方針及び学校設定教科・科目等の内容や目標等に関する情報を記載してください。 各高等学校等から推薦できる人数は，1校につき2人以内とします。 詳細は，「令和3年度学校推薦型選抜（教育学部）学生募集要項」（9月上旬発表予定）によります。

注：高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

(医学部)

実施学部・学科	医学部 医学科 (全国枠・地域枠・福井健康推進枠)	
募集人員	30人 (うち地域枠10人程度, 福井健康推進枠10人程度を含む)	
推薦要件	本学が指定する令和3年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者で, 次の要件に該当し, 出身学校長が責任をもって推薦できる者で, 合格した場合は入学することを確約できる者	
	全国枠	高等学校(特別支援学校の高等部を含む)又は中等教育学校を令和3年3月に卒業見込みの者又は令和2年3月以降に卒業した者で, かつ, 次の要件をすべて満たす者 (1) 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)又は中等教育学校における学習成績概評がAに属する生徒のうち, 人物, 学力ともに優秀である者 (2) 本学志願の動機が明確であり, 将来医師及び医学研究者として, 地域医療や医学の進展に貢献する意欲が旺盛な者 (3) スポーツ・文化活動やボランティア活動等を通して, 充実した高等学校(特別支援学校の高等部を含む)又は中等教育学校生活を送っている者 (4) 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)又は中等教育学校において, 物理, 化学, 生物(理数科にあっては, 理数物理, 理数化学, 理数生物)のうち2科目以上履修した(見込みを含む)者
	地域枠	① 『福井県内』の高等学校(特別支援学校の高等部を含む)若しくは中等教育学校を令和3年3月に卒業見込みの者又は令和2年3月以降に卒業した者 ② 『福井県以外』の高等学校(特別支援学校の高等部を含む)若しくは中等教育学校を令和3年3月に卒業見込みの者又は令和2年3月以降に卒業した者のうち, 保護者が平成30年4月1日時点(それ以前も含む)から出願時までの全期間に, 福井県内に在住している者 ①②いずれとも上記「全国枠」(1)～(4)の条件を満たし, かつ, 卒業後は, 直ちに福井大学医学部附属病院で, 連続した3年間の研修(臨床研修および専門研修)に従事し, 福井県内において医師となる強い意志を有する者 注: 臨床研修において, 本学医学部附属病院との組み合わせであれば, 協力病院での研修も可能です。
	福井健康推進枠	① 『福井県内』の高等学校(特別支援学校の高等部を含む)若しくは中等教育学校を令和3年3月に卒業見込みの者又は令和2年3月以降に卒業した者 ② 『福井県以外』の高等学校(特別支援学校の高等部を含む)若しくは中等教育学校を令和3年3月に卒業見込みの者又は令和2年3月以降に卒業した者のうち, 保護者が平成30年4月1日時点(それ以前も含む)から出願時までの全期間に, 福井県内に在住している者 ③ 『福井県以外』の高等学校(特別支援学校の高等部を含む)若しくは中等教育学校を令和3年3月に卒業見込みの者又は令和2年3月以降に卒業した者 ①②③いずれとも上記「全国枠」(1)～(4)の条件を満たし, かつ, 医師免許を取得し, 福井県内において卒後臨床研修を終えた後, 引き続き福井県内において地域医療に従事する強い意志を有する者であって, その意志を記載した書面(奨学金受給意向調査書)を福井県に対して提出した者 ※上記, 福井健康推進枠③の出願資格により合格できる者は福井県からの奨学金貸与の関係上, 5名を上限とします。

選 抜 方 法 等	(1) 大学入学共通テストの成績により、募集人員の約3倍の第1次選考合格者を決定します。 (2) 第1次選考合格者に対し、面接及び提出された推薦書、調査書、志願理由書による選考を行い、第1次選考結果と総合して最終選考合格者を決定します。 (3) 大学入学共通テストで課す教科・科目名については、42ページを参照してください。
出 願 期 間	令和2年12月7日（月）～11日（金）
選 抜 期 日 （最終選考）	令和3年2月13日（土）
合 格 発 表 日 （最終選考）	令和3年2月16日（火）
そ の 他	調査書の学習成績概評が㊦に相当する者については、㊦標示とその理由を記載してください。 各高等学校等から推薦できる人数は、特に制限しません。 詳細は、「令和3年度学校推薦型選抜（医学部）学生募集要項」（9月上旬発表予定）によります。

注1. 高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

2. 医学科の学校推薦型選抜Ⅱにおいては下記の表（参考）のとおり併願ができます。

3. 「福井健康推進枠」の志願者には、福井県から奨学金受給意向調査書受理証が交付されます。

4. 「福井健康推進枠」の入学者には、福井県から奨学金が貸与されます。

5. 福井県が実施する奨学金制度の概要及び奨学金受給意向調査書に関しては、福井県ホームページ（<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/iryou/iryojyujisya/syogakukinseido.html>）又は「福井県医師確保修学資金」でキーワード検索）を参照してください。

（参考）

卒業時期	出身高校	出願区分			備 考
		全国枠	地域枠	福井健康推進枠	
令和3年3月卒業見込みの者	福井県内（※）	○	○	○	すべての出願区分の併願が可能です。
	上記以外	○	×	○	全国枠と福井健康推進枠の併願が可能です。
令和2年3月以降に卒業した者	福井県内（※）	○	○	○	すべての出願区分の併願が可能です。
	上記以外	○	×	○	全国枠と福井健康推進枠の併願が可能です。

※表中の「出身高校 福井県内（※）」には38ページの「推薦要件 地域枠②及び福井健康推進枠②」の条件を満たす者を含みます。

（国際地域学部）

実施学部・学科	国際地域学部 国際地域学科
募 集 人 員	10人
推 薦 要 件	次の各号に該当する者で、出身学校長が、本学部の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め、責任をもって推薦できる者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和3年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 調査書の学習成績の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績，面接（個人面接），調査書，推薦書及び志願理由書を総合して判定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名については，42ページを参照してください。
出 願 期 間	令和2年12月7日（月）～11日（金）
選 抜 期 日	令和3年1月23日（土）
合 格 発 表 日	令和3年2月15日（月）
そ の 他	調査書の学習成績概評が㊦に相当する者については，㊦標示とその理由を記載してください。 各高等学校等から推薦できる人数は，1校につき3人以内とします。 詳細は，「令和3年度学校推薦型選抜Ⅱ（国際地域学部）学生募集要項」（9月上旬発表予定）によります。

注：高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

(3) 入学者選抜の実施教科・科目等 (学校推薦型選抜Ⅱ)
【教育学部】

学校推薦型選抜Ⅱ 1月23日

【令和3年度】

学部・課程・コース名				大学入学共通テストの利用教科・科目名等				個別学力検査等の実施科目等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												備考	
教 育 学 部	選 抜 区 分	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	教科				実技等				調査書等				配点 合計						
							国語	地理 歴史	公民	学 科			外国語	実技	面接	小論文	その他	調査書		推薦書	本人の記載 する資料				
										①	②	③													
学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ (17)	面接型 (総合) 初等教育コース (16) 中等教育コース (6)	国	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から1	実技等	「面接 (プレゼンテーション及び口述試験を含む。)」	共通テスト	100				①	②	③	100								450			
		数	「数Ⅰ・数B」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1	調査書等	「調査書」、「推薦書」、 「本人の記載する資料 (志願理由書)」 ※調査書、推薦書、志願理由書は面接 の際に活用します	個別学力検査			100							○	○	○			450				
		理	「理Ⅰ・数B」、「物理基礎」、「生物学」 から2																						
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」 から1																						
学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ (10)	面接型 (家庭) 初等教育コース (1) 中等教育コース (2)	国	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から2	実技等	「面接 (プレゼンテーション及び口述試験を含む。)」	計	100														900				
		数	「数Ⅰ・数B」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1	調査書等	「調査書」、「推薦書」、 「本人の記載する資料 (志願理由書)」 ※調査書、推薦書、志願理由書は面接 の際に活用します			100																	
		理	「理Ⅰ・数B」、「物理基礎」、「生物学」 から2																						
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」 から1																						
学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ (10)	実技型 (音楽)	国	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から1	実技等	「実技」、「面接 (口述試験を含む。)」 (音楽)	共通テスト	100				50	50	50	100							450				
		数	「数Ⅰ・数B」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1	調査書等	「調査書」、「推薦書」、 「本人の記載する資料 (志願理由書)」 ※調査書、推薦書、志願理由書は面接 の際に活用します																				
		理	「理Ⅰ・数B」、「物理基礎」、「生物学」 から2																						
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」 から1																						
学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ (10)	中等教育コース (2)	国	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から2	実技等	「実技」、「面接 (口述試験を含む。)」 (音楽)	計	100														900				
		数	「数Ⅰ・数B」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 から1	調査書等	「調査書」、「推薦書」、 「本人の記載する資料 (志願理由書)」 ※調査書、推薦書、志願理由書は面接 の際に活用します																				
		理	「理Ⅰ・数B」、「物理基礎」、「生物学」 から2																						
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」 から1																						

(1) 注意 (学校推薦型選抜Ⅱ)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

○ 受験することを課した教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、大学入学共通テストからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。

ただし、「地理」、「公民」及び「理②」の科目において、本学が1科目を課する場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので十分注意してください。

○ 「理①」及び「理②」から3科目を受験している場合は、「理①」2科目合計の得点又は「理②」の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。

○ 「地理」、「公民」2科目を受験している場合は、「地理」、「公民」2科目+「理②」2科目、以下のように成績を用います。

①「地理」、「公民」の第1解答科目

②「理②」の第1解答科目

③「地理」、「公民」及び「理②」の第2解答科目のうち得点の高い科目

○ 「地理」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目 同士の選択はできません。

○ 「簿」、「情報」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了 (見込み) 者に限ります。

○ 外国語「英」は、リーディングの得点 (100点満点) を150点にリスニングの得点 (100点満点) を50点に換算し、合計得点 (200点満点) を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、「英」のリーディングの得点 (100点満点) を本学の配点に換算します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

○ *印は選択を示します。

【医学部】

学校推薦型選抜Ⅱ 1次：書類選考、最終：2月13日

【令和3年度】

学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等				個別学力検査等の実施科目等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考						
教科		科 目 名 等		教科等		科 目 名 等		試験の区分		数 学				実 技 等		調査書等		配点 合計								
										国語	地理 歴史	公民	①	②	①	②	外国語		実 技		面接	小論文	その他	調査書	推薦書	本人の記載 する資料
医 学 部	医 学 科	国		地理「世B」、「日B」、「地理B」 } から1 公民「倫・政経」 数①「数Ⅰ・数A」 数②「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 理②「物理」、「化学」、「生物」 から2 外「英」		実技等 調査書等		「面接」 「調査書」、「地理書」、 「本人の記載する資料（志願理由書）」 ※調査書、推薦書、志願理由書は面接の際に 活用します		共通テスト 調査書等の提出	200	100	100	100	200	200	200						○	○	○	800
				〔5教科7科目〕						計	200	100	100	200	200	200			○	○	○				○	調査しない

(1) 注意 (学校推薦型選抜Ⅱ)

大学入学共通テストの成績により、募集人員の3倍の第1次選考合格者を決定します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

○「地理」、「公民」の科目において、2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので十分注意してください。

○「簿」、「情報」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

○ 外国語「英」は、リーディングの得点(100点満点)を150点に、リスニングの得点(100点満点)を50点に換算し、合計得点(200点満点)を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、「英」のリーディングの得点(100点満点)を本学の配点に換算します。

【個別学力検査等の実施科目等】欄

○ 面接の評価が著しく低い場合には、総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。

【国際地域学部】

学校推薦型選抜Ⅱ 1月23日

【令和3年度】

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等				個別学力検査等の実施科目等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考		
国際地域 学 部		教科		科 目 名 等		教科等		科 目 名 等		試験の区分	教科				実技等				調査書等		配点 合計	
		国		「国」 地理「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から2 公民「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 数①「数Ⅰ・数A」 数②「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 理①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」 から2 または 理②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から1 外「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」 から1 〔5教科7科目または8科目〕または〔6教科7科目または8科目〕		実技等 調査書等		「面接（個人面接）」 「調査書」、「推薦書」、 「本人の記載する資料（志願理由書）」 ※調査書、推薦書、志願理由書は面接の際に 活用します			国語	地理 歴史	公民	数 学	理 科	外国語	実 技	面接	小論文			その他
国際地域 学 部		国		「国」 地理「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から2 公民「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 数①「数Ⅰ・数A」 数②「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 理①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」 から2 または 理②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から1 外「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」 から1 〔5教科7科目または8科目〕または〔6教科7科目または8科目〕		実技等 調査書等		「面接（個人面接）」 「調査書」、「推薦書」、 「本人の記載する資料（志願理由書）」 ※調査書、推薦書、志願理由書は面接の際に 活用します		共通テスト	100	100	50	50	*50	100					450	450
学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ (10)										個別学力検査		100	100	100	50	100	450			450	900	

(1) 注意 (学校推薦型選抜Ⅱ)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

○ 受験することを願った教科・科目数を超えて受験している場合は、大学入試センターからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。

ただし、「地理」、「公民及び理②」の科目において、本学が1科目を課する場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので十分注意してください。

○「理①」及び「理②」から3科目を受験している場合は、「理①」②科目合計の得点又は「理②」の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。

○「地理」においては、同一名称のA・B出題科目は、同一名称を含む出題科目同士での選択はできません。

○「簿」、「情報」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

○ 外国語「英」は、リーディングの得点(100点満点)を150点に、リスニングの得点(100点満点)を50点に換算し、合計得点(200点満点)を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、「英」のリーディングの得点(100点満点)を本学の配点に換算します。

【大学入学共通テスト試験・個別学力検査等の配点等】欄

○ *印は選択を示します。

【国際地域学部における外国語検定試験の活用】

○ 外国語検定試験の成績を活用し、TOEFL iBT100点以上の者は、大学入学共通テストの外国語の得点を満点とします。ただし、これらの検定試験の成績は令和元(2019)年4月以降のものとしします。

V 総合型選抜

1. 入学者選抜方法等

学部・課程・コース・学科等 選抜方法等					総 合 型 選 抜									備 考
					入学定員の一部について、学力検査を免除し、面接、出願書類等を主な資料として判定する									
					大学入学共通テスト	個別学力検査	実 技 検 査 等					調査書等		
							実技検査	面接（注４）	小論文	外国語におけるリスニングテスト	その他	調査書	本人の記載する資料	
教育学部	学校教育課程	初等教育コース・中等教育コース	実技型（美術）		×	×	○	○	×	×	○（注5）	○（注6）	○（注7）	
工学部	機 械 ・ シ ス テ ム 工 学 科				○	×	×	○	×	×	×	○	○（注8）	
	電 気 電 子 情 報 工 学 科				○	×	×	○	×	×	×	○	○（注8）	
	建 築 ・ 都 市 環 境 工 学 科				○	×	×	○	×	×	×	○	○（注8）	
	物 質 ・ 生 命 化 学 科				○	×	×	○	×	×	×	○	○（注8）	
	応 用 物 理 学 科				○	×	×	○	×	×	×	○	○（注8）	
国際地域学部	国 際 地 域 学 科				×	×	×	○	×	×	○（注5）	○	○（注9）	

注1. 各項目について、該当するものに○印、該当しないものには×印を付しています。

- 総合型選抜Ⅰは、大学入学共通テストを課しません。総合型選抜Ⅱは、大学入学共通テストを課します。
- 成績概評A段階に属し、人物、学力ともに特に優秀で、出身学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書の「学習成績概評」欄に㊤と標示し、その理由を記載してください。
- 面接には、口述試験を含みます。
- 教育学部、国際地域学部の「実技検査等」のうち、「その他」の○印は、プレゼンテーションです。
- 教育学部の調査書について、学校運営の方針及び学校設定教科・科目等の内容や目標等に関する情報を備考欄に記載してください。
- 教育学部の「本人の記載する資料」の○印は、志願理由書、自己推薦書及び取り組みと成果に関するレポートです。
- 工学部の「本人の記載する資料」の○印は、志願理由書及び自己推薦書です。
- 国際地域学部の「本人の記載する資料」の○印は、志願理由書及び取り組みと成果に関するレポートです。

2. 総合型選抜の選抜方法

(1) 総合型選抜Ⅰ

(教育学部)

実施学部・課程・ コース（選抜区分）	教育学部 学校教育課程 初等教育コース・中等教育コース（実技型（美術））
募 集 人 員	3人（初等教育コース 1人，中等教育コース 2人）
出 願 要 件	出願するコースでの勉学を強く希望し，合格した場合は入学を確約できる者で，次の各号のいずれかに該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者 (2) 高等専門学校第3学年を修了した者又は令和3年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者
選 抜 方 法 等	（第1次選考） 高校等での取り組みとその成果に関するレポートや作品資料等により，取り組みの内容と文章力及びプレゼンテーション能力等を判定します。提出された調査書，志願理由書及び自己推薦書に基づき，基礎的学力に加え，思考力・判断力・表現力など，受験生の幅広い学力を多面的に評価します。 ・大学にて選考する。 ・課題に基づきプレゼンテーション資料（筆記）を作成した上で，口頭発表する。 （最終選考） 実技検査（基礎的な造形力を素描にて考査）と面接（口述試験を含む）により，教育の諸課題に主体的に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。
出 願 期 間	令和2年11月2日（月）～9日（月）
選 抜 期 日	第1次選考 令和2年11月21日（土） 最終選考 令和2年12月19日（土）
合 格 発 表 日	第1次選考 令和2年12月3日（木） 最終選考 令和2年12月25日（金）
そ の 他	調査書の学習成績概評が㊤に相当する者については，㊤標示とその理由を記載してください。 調査書の備考欄に，学校運営の方針及び学校設定教科・科目等の内容や目標等に関する情報を記載してください。 詳細は，「令和3年度教育学部総合型選抜Ⅰ（高大接続型入試）学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

(国際地域学部)

実施学部・学科	国際地域学部 国際地域学科
募 集 人 員	8 人
出 願 要 件	出願する学部での勉学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者で、次の各号のいずれか該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者
選 抜 方 法 等	(第1次選考) 調査書、志願理由書、高等学校等での取り組みやその成果に関するレポート（取り組みを証明する資料があれば添付することが出来ます）を総合的に評価し、第1次選考合格者を決定します。（書類選考） (最終選考) 第1次選考合格者に対して、取り組みに対するプレゼンテーション及び面接（口述試験を含む）を行います。プレゼンテーションでは、第1次選考時に提出された高校での取り組みに関するレポートの内容の口頭発表を行います。さらに、プレゼンテーションの内容に関する質疑応答を含めた面接を行い、第1次選考及び最終選考の結果を総合的に評価して合格者を決定します。
出 願 期 間	令和2年10月27日（火）～30日（金）
選 抜 期 日	第1次選考 令和2年11月中旬（書類選考） 最終選考 令和2年12月5日（土）
合 格 発 表 日	第1次選考 令和2年11月24日（火） 最終選考 令和2年12月11日（金）
そ の 他	調査書の学習成績概評が㊤に相当する者については、㊤標示とその理由を記載してください。 詳細は、「令和3年度国際地域学部総合型選抜Ⅰ（高大接続型入試）学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

(2) 総合型選抜Ⅱ

(工学部)

実施学部・学科	工学部 機械・システム工学科
募 集 人 員	15人（特別枠：原子力安全工学コース 4名程度含む）
出 願 要 件	次の各号にすべて該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和3年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 出願する学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者 【特別枠：原子力安全工学コース】 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和3年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 原子力安全工学に関する勉学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できるとともに入学後は原子力安全工学コースで学ぶことを確約できる者
選 抜 方 法 等	（第1次選考） 志願理由書，自己推薦書，調査書を総合的に評価し，第1次選考合格者を決定します。（書類選考） （最終選考） 第1次選考の合格者に対し面接（口述試験を含む）を行い，その結果と大学入学共通テストの成績，提出書類を総合的に評価して合格者を決定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名については，51ページを参照してください。
出 願 期 間	令和2年10月20日（火）～27日（火）
選 抜 期 日	第1次選考 令和2年11月下旬（書類選考） 最終選考 令和2年12月21日（月）
合 格 発 表 日	第1次選考 令和2年12月1日（火） 最終選考 令和3年2月15日（月）
そ の 他	詳細は，「令和3年度工学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

注：高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

実施学部・学科	工学部 電気電子情報工学科
募 集 人 員	10人
出 願 要 件	次の各号にすべて該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者 又は令和3年3月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和3年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 出願する学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	(第1次選考) 志願理由書、自己推薦書、調査書を総合的に評価し、第1次選考合格者を決定します。（書類選考） (最終選考) 第1次選考の合格者に対し面接（口述試験を含む）を行い、その結果と大学入学共通テストの成績、提出書類を総合的に評価して合格者を決定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名については、51ページを参照してください。
出 願 期 間	令和2年10月20日（火）～27日（火）
選 抜 期 日	第1次選考 令和2年11月下旬（書類選考） 最終選考 令和2年12月21日（月）
合 格 発 表 日	第1次選考 令和2年12月1日（火） 最終選考 令和3年2月15日（月）
そ の 他	詳細は、「令和3年度工学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

注：高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

実施学部・学科	工学部 建築・都市環境工学科
募 集 人 員	10人
出 願 要 件	次の各号にすべて該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者 又は令和3年3月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和3年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 出願する学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	(第1次選考) 志願理由書，自己推薦書，調査書を総合的に評価し，第1次選考合格者を決定します。（書類選考） (最終選考) 第1次選考の合格者に対し面接（口述試験を含む）を行い，その結果と大学入学共通テストの成績，提出書類を総合的に評価して合格者を決定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名については，51ページを参照してください。
出 願 期 間	令和2年10月20日（火）～27日（火）
選 抜 期 日	第1次選考 令和2年11月下旬（書類選考） 最終選考 令和2年12月21日（月）
合 格 発 表 日	第1次選考 令和2年12月1日（火） 最終選考 令和3年2月15日（月）
そ の 他	詳細は，「令和3年度工学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

注：高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

実施学部・学科	工学部 物質・生命化学科
募 集 人 員	20人
出 願 要 件	次の各号にすべて該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者 又は令和3年3月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和3年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 出願する学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	（第1次選考） 志願理由書，自己推薦書，調査書を総合的に評価し，第1次選考合格者を決定します。（書類選考） （最終選考） 第1次選考の合格者に対し面接（口述試験を含む）を行い，その結果と大学入学共通テストの成績，提出書類を総合的に評価して合格者を決定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名については，51ページを参照してください。出願時に提出した自己推薦書の中で受験者が特にPRしたい内容を中心とした質疑応答により，学習意欲，チャレンジ精神，論理性等を評価し，総合判定します。
出 願 期 間	令和2年10月20日（火）～27日（火）
選 抜 期 日	第1次選考 令和2年11月下旬（書類選考） 最終選考 令和2年12月21日（月）
合 格 発 表 日	第1次選考 令和2年12月1日（火） 最終選考 令和3年2月15日（月）
そ の 他	詳細は，「令和3年度工学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項」（8月下旬発表予定）によります。

注1：高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

実施学部・学科	工学部 応用物理学科
募 集 人 員	5 人
出 願 要 件	次の各号にすべて該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者 又は令和 3 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 本学が指定する令和 3 年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 出願する学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者
選 抜 方 法 等	（第 1 次選考） 志願理由書，自己推薦書，調査書を総合的に評価し，第 1 次選考合格者を決定します。（書類選考） （最終選考） 第 1 次選考の合格者に対し面接（口述試験を含む）を行い，その結果と大学入学共通テストの成績，提出書類を総合的に評価して合格者を決定します。 大学入学共通テストで課す教科・科目名については，51 ページを参照してください。
出 願 期 間	令和 2 年 10 月 20 日（火）～27 日（火）
選 抜 期 日	第 1 次選考 令和 2 年 11 月下旬（書類選考） 最終選考 令和 2 年 12 月 21 日（月）
合 格 発 表 日	第 1 次選考 令和 2 年 12 月 1 日（火） 最終選考 令和 3 年 2 月 15 日（月）
そ の 他	詳細は，「令和 3 年度工学部総合型選抜Ⅱ学生募集要項」（8 月下旬発表予定）によります。

注：高等学校には，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

(3) 入学者選抜の実施教科・科目等 (総合型選抜Ⅱ)

【工学部】

総合型選抜Ⅱ 1次：書類選考、最終：12月21日

【令和3年度】

学部・学科名			大学入学共通テストの利用教科・科目名等			個別学力検査等の実施科目等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考
学	部	学科	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	教科				実技等			調査書等	配点 合計			
								国語	地理 歴史	公民	数 学	理 科	外国語	実技			面接	小論文	その他
工 学 部		機械・システム工学科 (総合型選抜Ⅱ (16) (特別枠：原子力安全工学コース) (4名限度、上記5名を含む))	数①「数Ⅰ・数A」 数②「数Ⅱ・数B」 理②「物理」	〔2教科3科目〕	実技等 調査書等	「面接(口述試験を含む)」 ※面接については点数化しないが総合判定の資料とします。 「調査書」,「その他(志願理由書,自己推薦書)」 ※調査書,志願理由書,自己推薦書は面接の際にも活用します	共通テスト 最終選考 1次選考 個別学力検査 最終選考	100	100	100	100				100	300			
		電気電子情報工学科 (総合型選抜Ⅱ (10))	数①「数Ⅰ・数A」 数②「数Ⅱ・数B」 理②「物理」	から2	実技等 調査書等	「面接(口述試験を含む)」 「調査書」,「その他(志願理由書,自己推薦書)」 ※調査書,志願理由書,自己推薦書は面接の際にも活用します	共通テスト 最終選考 1次選考 個別学力検査 最終選考	*250	*250	*250	*250				30	60	500		
		建築・都市環境工学科 (総合型選抜Ⅱ (10))	数①「数Ⅰ・数A」 数②「数Ⅱ・数B」 理②「物理」	から3 から3 から3 から3 から3	実技等 調査書等	「面接(口述試験を含む)」 「調査書」,「その他(志願理由書,自己推薦書)」 ※調査書,志願理由書,自己推薦書は面接の際にも活用します	共通テスト 最終選考 1次選考 個別学力検査 最終選考	*100	*100	*100	*100					40	60	500	
		総合型選抜Ⅱ (10)	数①「数Ⅰ・数A」 数②「数Ⅱ・数B」 理②「物理」	から3 から3 から3 から3 から3	実技等 調査書等	「面接(口述試験を含む)」 「調査書」,「その他(志願理由書,自己推薦書)」 ※調査書,志願理由書,自己推薦書は面接の際にも活用します	共通テスト 最終選考 1次選考 個別学力検査 最終選考	*100	*100	*100	*100				40	60	800		
		物質・生命化学科 (総合型選抜Ⅱ (20))	数①「数Ⅰ・数A」 数②「数Ⅱ・数B」 理②「物理」	から3 から3 から3 から3 から3	実技等 調査書等	「面接(口述試験を含む)」 「調査書」,「その他(志願理由書,自己推薦書)」 ※調査書,志願理由書,自己推薦書は面接の際にも活用します	共通テスト 最終選考 1次選考 個別学力検査 最終選考	*100	*100	*100	*100				40	60	400		
		総合型選抜Ⅱ (20)	数①「数Ⅰ・数A」 数②「数Ⅱ・数B」 理②「物理」	から3 から3 から3 から3 から3	実技等 調査書等	「面接(口述試験を含む)」 「調査書」,「その他(志願理由書,自己推薦書)」 ※調査書,志願理由書,自己推薦書は面接の際にも活用します	共通テスト 最終選考 1次選考 個別学力検査 最終選考	*100	*100	*100	*100				40	60	700		
		応用物理学科 (総合型選抜Ⅱ (5))	数①「数Ⅰ・数A」 数②「数Ⅱ・数B」 理②「物理」	から1 から1 から1 から1 から1	実技等 調査書等	「面接(口述試験を含む)」 「調査書」,「その他(志願理由書,自己推薦書)」 ※調査書,志願理由書,自己推薦書は面接の際にも活用します	共通テスト 最終選考 1次選考 個別学力検査 最終選考	100	100	100	200				30	60	400		
		総合型選抜Ⅱ (5)	数①「数Ⅰ・数A」 数②「数Ⅱ・数B」 理②「物理」	から1 から1 から1 から1 から1	実技等 調査書等	「面接(口述試験を含む)」 「調査書」,「その他(志願理由書,自己推薦書)」 ※調査書,志願理由書,自己推薦書は面接の際にも活用します	共通テスト 最終選考 1次選考 個別学力検査 最終選考	100	100	200	400				30	60	800		

(1) 注意 (総合型選抜Ⅱ)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 本学が課した教科・科目を受験していない者は、総合型選抜を受験しても失格となりますので、必ず本人の責任で確認してください。
- 受験することを課した教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、大学入試センターからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。
- ・物質・生命化学科の受験者は、「数①」と「数②」の科目の得点を採用した場合、「理②」は第1解答科目の得点を採用します。
- 「理②」の科目において、本学が1科目を課する場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。
- ・電気電子情報工学科の受験者は、「物理」が第1解答科目でない場合、「数①」と「数②」の科目の得点を採用します。
- ・建築・都市環境工学科の受験者は、「物理」が第1解答科目でない場合、「数①」と「数②」の科目の得点を採用します。
- ・応用物理学科の受験者は、「物理」が第1解答科目でない場合、「数①」と「数②」の科目の得点を採用します。
- 「簿」「情報」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限りです。
- 外国語「英」は、リーディングの得点(100点満点)を150点に、リスニングの得点(100点満点)を50点に換算し、合計得点(200点満点)を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、「英」のリーディングの得点(100点満点)を本学の配点に換算します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- *印および**印は選択を示します。
- 面接において、配点欄に○とある場合は、点数化しないが総合判定の資料としますので、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。

VI 私費外国人留学生選抜 (工学部)

実施学部・学科	工学部 機械・システム工学科 電気電子情報工学科 建築・都市環境工学科 物質・生命化学科 応用物理学科																							
募集人員	各学科 若干名																							
出願要件	日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者 1. 基礎資格 次のいずれかに該当する者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和3年（2021年）3月31日までに修了見込みの者を含む）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの なお、上記12年の課程には、日本の学校教育制度における修学期間も含まれるが、その場合は、修学期間が通算3年以内であること (2) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者 (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 (5) 日本の学校教育制度における修学期間が通算3年以内の者で、次の①～③までのいずれかに該当する者で令和3年（2021年）3月31日までに18歳に達するもの ① 高等学校若しくは中等教育学校を令和3年（2021年）3月31日までに卒業した者又は見込みの者で令和3年（2021年）3月31日までに18歳に達するもの ② 文部科学大臣の指定を受けた修業年限3年以上の専修学校高等課程の学科を文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は令和3年（2021年）3月31日までに修了見込みの者 ③ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験合格者（従前の大学入学資格検定合格者を含む）又は令和3年（2021年）3月31日までに合格見込みの者 2. 要件 次に掲げるすべての要件に該当すること (1) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2020年度（令和2年度）日本留学試験（学部で指定する教科・科目）を受験している者 (2) 平成31年（2019年）1月以降に実施されたTest of English as a Foreign Language (TOEFL) を受験している者 (3) 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に規定する「留学」の在留資格を有する者又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者																							
選抜方法等	<table><tr><th rowspan="2">学部等</th><th colspan="4">日 本 留 学 試 験</th><th rowspan="2">TOEFL</th><th rowspan="2">本学が実施する 学力検査等</th></tr><tr><th>日本語</th><th>理 科</th><th>総合科目</th><th>数 学</th></tr><tr><td>工 学 部</td><td>○</td><td>○物理・化学・生物から 2科目</td><td>×</td><td>コース2 ○</td><td>○</td><td>面接及び口述試験(簡単な筆記試験を行う場合もある)</td></tr></table> 備考1. 日本留学試験の出題言語は、日本語とします。 2. ○印は当該試験を課すことを、×は課さないことを示します。 3. 入学者の選抜は、本学が実施する学力検査等の成績及び出願書類を総合して行います。						学部等	日 本 留 学 試 験				TOEFL	本学が実施する 学力検査等	日本語	理 科	総合科目	数 学	工 学 部	○	○物理・化学・生物から 2科目	×	コース2 ○	○	面接及び口述試験(簡単な筆記試験を行う場合もある)
学部等	日 本 留 学 試 験				TOEFL	本学が実施する 学力検査等																		
	日本語	理 科	総合科目	数 学																				
工 学 部	○	○物理・化学・生物から 2科目	×	コース2 ○	○	面接及び口述試験(簡単な筆記試験を行う場合もある)																		
出 願 期 間	令和3年1月12日（火）～15日（金）																							
選 抜 期 日	令和3年2月10日（水）																							
合 格 発 表 日	令和3年2月19日（金）																							
そ の 他	詳細は、「令和3（2021）年度私費外国人留学生選抜学生募集要項」（10月上旬発表予定）によります。																							

注：志願者には、アメリカのETS (Educational Testing Service) から本学への Official Score Report の送付を求めます。本学 (University of Fukui) の TOEFL の DI コード (Designated Institution code) は「0184」です。

(国際地域学部)

実施学部・学科	国際地域学部 国際地域学科																								
募 集 人 員	若干名																								
出 願 要 件	日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者 1. 基礎資格 次のいずれかに該当する者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和3年（2021年）3月31日までに修了見込みの者を含む）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの なお、上記12年の課程には、日本の学校教育制度における修学期間も含まれるが、その場合は、修学期間が通算3年以内であること (2) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者 (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 (5) 日本の学校教育制度における修学期間が通算3年以内の者で、次の①～③までのいずれかに該当する者で令和3年（2021年）3月31日までに18歳に達するもの ① 高等学校若しくは中等教育学校を令和3年（2021年）3月31日までに卒業した者又は見込みの者で令和3年（2021年）3月31日までに18歳に達するもの ② 文部科学大臣の指定を受けた修業年限3年以上の専修学校高等課程の学科を文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は令和3年（2021年）3月31日までに修了見込みの者 ③ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験合格者（従前の大学入学資格検定合格者を含む）又は令和3年（2021年）3月31日までに合格見込みの者 2. 要件 次に掲げるすべての要件に該当すること (1) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2020年度（令和2年度）日本留学試験（学部で指定する教科・科目）を受験している者 (2) 平成31年（2019年）1月以降に実施されたTest of English as a Foreign Language (TOEFL) を受験している者 (3) 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に規定する「留学」の在留資格を有する者又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者																								
選 抜 方 法 等	<table><tr><th rowspan="2">学部等</th><th colspan="4">日 本 留 学 試 験</th><th rowspan="2">TOEFL</th><th rowspan="2">本学が実施する 学力検査等</th></tr><tr><th>日本語</th><th>理科</th><th>総合科目</th><th>数 学</th></tr><tr><td>国際地域学部</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>小論文、面接</td></tr></table> 備考1. 日本留学試験の出題言語は、日本語とします。 2. ○印は当該試験を課すことを、×は課さないことを示します。 3. 入学者の選抜は、本学が実施する学力検査等及び出願書類を総合して判定します。							学部等	日 本 留 学 試 験				TOEFL	本学が実施する 学力検査等	日本語	理科	総合科目	数 学	国際地域学部	○	×	○	×	○	小論文、面接
学部等	日 本 留 学 試 験				TOEFL	本学が実施する 学力検査等																			
	日本語	理科	総合科目	数 学																					
国際地域学部	○	×	○	×	○	小論文、面接																			
出 願 期 間	令和3年1月12日（火）～15日（金）																								
選 抜 期 日	令和3年2月10日（水）																								
合 格 発 表 日	令和3年2月19日（金）																								
そ の 他	詳細は、「令和3（2021）年度私費外国人留学生選抜学生募集要項」（10月上旬発表予定）によります。																								

注：志願者には、アメリカのETS (Educational Testing Service) から本学への Official Score Report の送付を求めます。本学 (University of Fukui) の TOEFL の D I コード (Designated Institution code) は「0184」です。

（国際地域学部：外国人特別枠入試）

実施学部・学科	国際地域学部 国際地域学科										
募 集 人 員	若干名										
出 願 要 件	日本国籍を持たず、出願時に日本国外に居住し、本学への入学を希望する者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者 1. 基礎資格 次のいずれかに該当する者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和3年（2021年）3月31日までに修了見込みの者を含む）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの なお、上記12年の課程には、日本の学校教育制度における修学期間も含まれるが、その場合は、修学期間が通算3年以内であること (2) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者 (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 2. 要件 次に掲げるすべての要件に該当すること (1) TOEFL (iBT) , IELTS (アカデミック・モジュール) のいずれかを出願前2年以内（2019年1月以降）に受験している者 (2) 日本語能力試験N3以上に合格している者又はN3と同等以上の日本語能力を証明する書類を提出できる者 (3) 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に規定する「留学」の在留資格を有する者又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者										
選 抜 方 法 等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学部等</th><th>TOEFL (iBT) , IELTS</th><th>日本語能力試験</th><th>本学が実施する学力検査等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際地域学部</td><td>TOEFL (iBT) または IELTSのどちらかを受験していること</td><td>N3以上に合格していること</td><td>インターネットを利用した面接</td></tr> </tbody> </table> 備考 入学者の選抜は、TOEFL, IELTSのいずれかの成績、日本語能力試験の成績、本学が実施する学力検査等及び出願書類を総合して判定します。			学部等	TOEFL (iBT) , IELTS	日本語能力試験	本学が実施する学力検査等	国際地域学部	TOEFL (iBT) または IELTSのどちらかを受験していること	N3以上に合格していること	インターネットを利用した面接
学部等	TOEFL (iBT) , IELTS	日本語能力試験	本学が実施する学力検査等								
国際地域学部	TOEFL (iBT) または IELTSのどちらかを受験していること	N3以上に合格していること	インターネットを利用した面接								
出 願 期 間	令和2年10月1日（木）～12日（月）										
選 抜 期 日	令和2年10月29日（木）～11月2日（月） （書類選考及びインターネットを利用した面接のため、来学する必要はありません。）										
合 格 発 表 日	令和2年11月13日（金）										
そ の 他	詳細は、「令和3（2021）年度私費外国人留学生選抜（外国人特別枠）学生募集要項」（4月発表済）によります。										

注：志願者には、アメリカのETS (Educational Testing Service)から本学への Official Score Report の送付を求めます。本学 (University of Fukui) の TOEFL の D I コード (Designated Institution code) は「0184」です。

Ⅶ 資料の請求方法

入学者選抜要項（この資料）、一般選抜学生募集要項、学校推薦型選抜学生募集要項（教育学部／国際地域学部／医学部医学科／医学部看護学科／工学部）、総合型選抜学生募集要項（教育学部／工学部／国際地域学部）について、冊子体での配付は行いません。公表したもののから順次、本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「受験生の方へ」内の「入試日程・募集人員・募集要項」に掲載しますので、各自で閲覧またはダウンロードしてください。

大学案内、その他冊子体で配付可能な資料の請求方法は次によります。

1. テレメールによる請求方法

（１）福井大学ホームページ（パソコン）からの請求方法

本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「受験生の方へ」内の「入試資料の請求方法」から

 テレメールにアクセスしてください。

（２）テレメールホームページ（パソコン・携帯電話・スマートフォン）または自動音声応答電話による請求方法

① 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

 インターネット パソコン・携帯電話・ スマートフォン	https://telemail.jp 携帯電話・スマートフォンなら、 QRコードを読み取るだけでアクセスできます。 
自動音声応答電話	IP 電話 050-8601-0101 （24 時間受付） ※一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも 3 分毎に約 12 円です。 ※住所・氏名等の登録時は、ゆっくり・はっきりと話してください。 登録された音声の不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ず登録してください。

② 請求を希望する資料請求番号（6 桁）を入力してください。

- ・大学案内 : 5 6 3 2 5 2
- ・私費外国人留学生選抜学生募集要項 : 5 6 3 2 4 2

③ ガイダンスに従って申し込んでください。

- ・請求してから 3 ～ 5 日後に資料が届きます。
- ・受付時間や地域、配達事情によっては、到着までに 1 週間程かかる場合があります。
- ・送料は資料に同封されている支払方法に従い、表示料金を支払ってください。
（支払いに際して手数料が別途必要になります。）
- ・ テレメールでの請求についての問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102（9:30～18:00）

2. 大学への請求方法（できるだけ テレメールで請求してください。）

「希望する資料名」を明記し、送付先（請求者）の郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、本学学務部入試課へメールまたは F A X により申し込んでください。

「ゆうメール」の着払いで送付します。

E-mail : g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

F A X : 0776-27-8010

3. 窓口での請求方法

以下の本学窓口で配付します。（祝日を除く月～金曜日 9:00～17:00）

文京キャンパス：福井県福井市文京 3－9－1

福井大学学務部入試課

松岡キャンパス：福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 2 3－3

福井大学学務部松岡キャンパス学務課

VIII 入学検定料免除（返還）・入試過去問題活用宣言

入学検定料免除（返還）について

福井大学では、災害により被災した入学志願者の経済的負担を軽減し進学機会の確保を図るため、入学検定料に対する免除等の特別措置を講じます。

免除の対象となる災害やその対象者、申請方法等の詳細については、福井大学 HP の下記のサイトを確認してください。

福井大学トップページ/受験生の方へ/入試情報・募集要項/入学検定料免除（返還）

https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/examination/exemption/

ご不明な点がある場合は、出願時までに学務部入試課まで連絡してください。

連絡先 福井大学学務部入試課 Tel 0776-27-9927 E-mail : g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

「入試過去問題活用宣言」への参加について

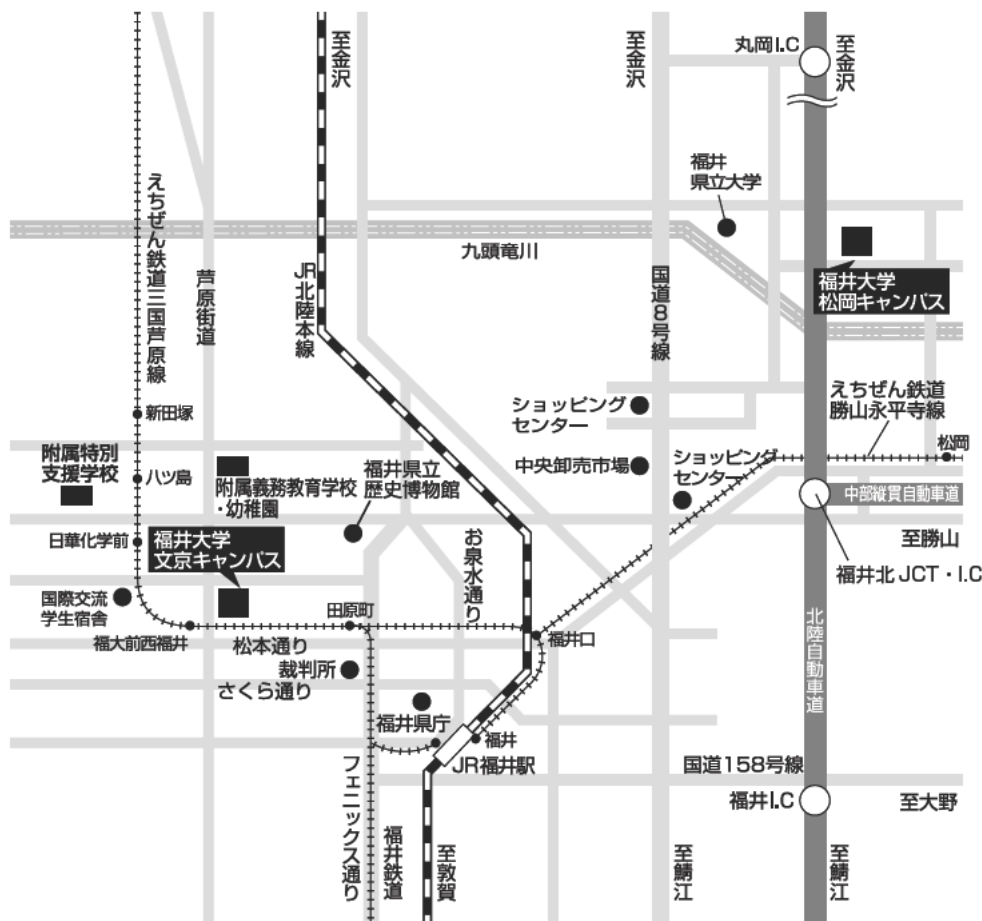
福井大学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認められる範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

- (1) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のホームページにてご確認ください。

「入試過去問題活用宣言」ホームページ (<http://www.nyushikakomon.jp/index.html>)

- (2) 入試過去問題を必ず使用するとは限りません。また、使用する際は、そのまま使用する場合も、一部改変して使用する場合があります。
- (3) 過去問題を使用した場合は、入学者選抜試験終了後、公表いたします。

福井大学位置図



■文京キャンパス【教育学部・工学部・国際地域学部】への経路

- バス JR福井駅ー(約10分)ー福井大学前下車
[JR福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅ー福大前西福井駅下車
[JR福井駅東口から出て三国芦原線で約10分]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー JR福井駅ー(約10分)ー福井大学文京下車
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km
福井ICから国道158号線で西へ約8km

■松岡キャンパス【医学部】への経路

- バス JR福井駅ー(約35分)ー福井大学病院前下車
[JR福井駅西口から出て市内バス乗り場1番から]
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅ー松岡下車 バスに乗り換え約5分
[JR福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分+バス]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー JR福井駅ー(約30分)ー福井大学松岡下車
[必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから北へ約4km、又は丸岡ICから南へ約5km
※標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」の位置を指します。

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- JRで 大阪・京都ー湖西線経由ー福井
(特急で、京都から約1時間30分、大阪から約2時間)
- 自動車 大阪・京都ー<名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC
(京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バス 大阪・京都ー<名神・北陸>ー福井
(京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

- JRで 名古屋・静岡ー米原経由ー福井
(名古屋から新幹線・特急で約1時間40分、特急で約2時間)
- 自動車 名古屋ー<名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC
(約2時間)
- 高速バス 名古屋ー<名神・北陸>ー福井(約2時間50分)

東京方面から

- 飛行機で 東京羽田ー小松空港(1時間)ー福井(連絡バス1時間)
- JRで 東京ー米原経由ー福井(新幹線・特急約3時間30分)
東京ー金沢経由ー福井(新幹線・特急約3時間30分)
- 自動車 東京ー<東名・名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC
(約6時間30分)
※高速バスもあります。

金沢・新潟方面から

- JRで 金沢・新潟ー福井(金沢から特急で約40分)
- 自動車 金沢ー<北陸>ー丸岡ー福井北JCT・IC(約1時間)



＜入試に関する問い合わせ先＞

福井大学

学務部入試課

文京キャンパス（教育学部・工学部・国際地域学部）

〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1

電話 0776-27-9927

学務部松岡キャンパス学務課

松岡キャンパス（医学部）

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

電話 0776-61-8830

＜注意＞

- ・入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの入学者選抜要項及び各学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この入学者選抜要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」のページでお知らせします。

【福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>】

- ・福井大学 携帯電話サイト

本学のオープンキャンパス情報，資料請求方法，一般選抜出願状況速報などの各種情報を携帯電話で閲覧できます。

【携帯電話サイト <http://daigakujc.jp/u-fukui/>】



- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く，月～金曜日の9:00～17:00に，この入学者選抜要項を参照の上，必ず志願者本人が行ってください。